

平成 29 年度看護学科第 1 学年科目一覧

【前 期】

- 生体の化学
- 文学
- 生物と進化
- 現代社会と法(憲法)
- 文化人類学
- 情報科学
- 英語 I (基礎)
- スペイン語
- 韓国語
- 中国語
- 看護学概論
- 看護リテラシー I (概念の理解)
- 健康生活支援論
- 健康生活支援論実習
- 看護初期実習

【後 期】

- 生命科学
- 生命と地球環境
- 医療のための物理学
- 心理学
- 哲学
- スポーツ実技
- 家族と社会
- 探求の技法
- 情報技術とコミュニケーション
- プレゼンテーションの技法
- フランス語
- ドイツ語
- 医療概論
- 社会保障制度論
- 看護倫理 I (基礎)
- 看護リテラシー II (看護基礎ゼミ)
- 健康生活支援論演習
- 看護援助論 I
(コミュニケーション論)

【通 年】

- 病理病態学
- 人体の構造と機能

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
生体の化学	一般教育課科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	自然を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
北原 恵一		授業開始前と授業終了後の各30分間 非常勤講師室(第1看護学科棟)			
授業のねらい	私たちの身体は多様な生体分子から構成され、生命現象は生体分子の化学反応により維持されている。同時に、私たちはプラスチック・繊維・医薬品など、さまざまな化学物質・化学製品の恩恵を受け暮らしている。したがって、私たちの健康を守り、日々の生活を安全で豊かにするためには、化学的な視点から分子や物質への理解を深めることが必要である。そのため、「生体の化学」では、化学の基本的考え方・理論的背景、さらに、有機化合物の構造と性質などを中心とした化学の基礎概念を学習する。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 原子の構造と原子の電子配置を理解し、元素の性質を説明できる。 2. 原子同士がどのように結合するかを説明できる。 3. 物質の量(数)を表す基本単位であるモルを説明できる。 4. 物質の状態を表す、気体・液体・固体の性質を説明できる。 5. 溶液の濃度の表し方を理解し、溶液の調製法、溶液の性質を説明できる。 6. 酸と塩基を定義し、溶液のpHの求め方、溶液の緩衝作用を説明できる。 7. 酸化と還元を理解し、代謝過程における酸化・還元反応を説明できる。 8. 放射線と放射能の違い、放射線の医療への応用について説明できる。 9. 有機化合物を官能基によって分類し、有機化合物の構造と結合を説明できる。 10. 有機化合物の極性や酸性・塩基性を構造から説明できる。 11. 有機化合物の代表的な反応を挙げ、反応における基本的事項を説明できる。 12. 分子を立体的に捉え、有機化合物の立体異性について説明できる。				

科目コード【1104】

<p>教科書</p>	<p>「コ・メディカル化学-医療・看護系のための基礎化学」 齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二，2016（裳華房）</p>
<p>参考図書</p>	<p>「医・薬・看護系のための化学」原 博・荒井 貞夫訳，2010（東京化学同人） 必要に応じて講義資料を配布する。</p>
<p>評価方法</p>	<p>定期試験（学期末に実施 60%），小テスト（実施日は予定表に記載 30%），授業中の課題への取り組み（毎回実施 10%）</p>
<p>課題に対する フィードバック</p>	<p>授業中の課題の解答を，プリントで配布する。</p>
<p>事前・事後学習</p>	<p>事前学習：教科書の該当箇所を事前に読み，授業に参加すること。 授業中：ノートを作成し，与えられた問題に積極的に取り組むこと。 事後学習：ノートをもとに復習し，演習問題を解いて，疑問点を解決すること。</p>

科目コード【1104】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	はじめに 生体の構成元素と原子の構造	生体を構成する元素の種類と原子の構造について学ぶ。	北原 恵一
2	原子の電子構造と周期表	原子の電子配置，元素の性質の周期性について学ぶ。	北原 恵一
3	化学結合と分子	原子がイオンや分子を形成する化学結合として，イオン結合と共有結合について学ぶ。	北原 恵一
4	原子量と分子量，モル 小テスト（第1回～第3回）	原子量やモルの考え方を理解し，粒子を基本とした物質の量の扱いについて学ぶ。	北原 恵一
5	溶液の濃度	医療の場で重要な，さまざまな濃度の溶液の調製法を学ぶ。	北原 恵一
6	物質の三態	物質の三つの状態である気体・液体・固体の性質について学ぶ。	北原 恵一
7	溶液の化学 小テスト（第4回～第6回）	水の構造と性質を理解し，水溶液の性質として浸透，透析などを学ぶ。	北原 恵一
8	酸と塩基	酸と塩基の強さ，pH，中和，体液と緩衝作用について学ぶ。	北原 恵一
9	酸化と還元	酸化剤と還元剤，代謝過程における酸化還元反応について学ぶ。	北原 恵一
10	放射線と放射能 小テスト（第7回～第9回）	放射性同位体，放射線と放射能の違い，放射線の医療への応用について学ぶ。	北原 恵一
11	有機化合物の分類と構造	有機化合物の官能基に基づく分類と，構造，結合について学ぶ。	北原 恵一
12	有機化合物の構造と性質	有機化合物の性質を，電気陰性度，結合の極性，分子の形などから学ぶ。	北原 恵一
13	有機化合物の酸性・塩基性 小テスト（第10回～第12回）	有機化合物の酸性・塩基性と，強さに及ぼす置換基の効果について学ぶ。	北原 恵一
14	有機化合物の反応	付加反応や置換反応を通して，有機化合物の反応について学ぶ。	北原 恵一
15	立体化学	有機化合物を立体的に捉え，配座異性，シストランス異性，鏡像異性について学ぶ。	北原 恵一
—	定期試験（教科書・ノート・プリントの持ち込み不可，関数電卓必携）		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
文学	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年前期	講義
	人を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 宮本高晴 [担当教員] 平井康和 林美穂子 西脇麻衣子		授業終了後医学科英語研究室 (宮本・林) 授業終了後医学科ドイツ語研究室 (西脇) 授業終了後非常勤講師室 (平井)			
授業のねらい	文学作品を通して、文学作品が生まれた背景とそこに登場する人間の生き方や考えを学び、豊かな感性、理知的な視点が構築されるよう、できるだけ多彩な文学作品に触れていく。さらには、現代を生きる人間として問題意識を高め、幅広い視野と表現力を養い、培うことをめざす。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 作品を鑑賞するなかで、作品のテーマを把握することができる。 2. 作品を鑑賞するなかで、登場人物の行為や考え方に共感をおぼえたり、またそれらを批判したりできる。 2. 作品が扱う諸々の問題について、共感できたり、批判的な視点から感想を述べたりすることができる。 3. 自分の感想や見解をわかりやすく人に説明できる。 4. 自分の感想や見解をわかりやすく文章にまとめることができる。 5. 他の人の意見を聞き、そのいわんとするところを理解することができる。 6. 異なる意見のぶつかり合いのなかから、より深い理解をめざそうとすることができる。 7. 文学作品にはさまざまな視点からの鑑賞法、分析法があることを理解する。				
教科書	(平井)『異邦人』アルベール・カミュ、窪田啓作訳、新潮社 (文庫版)				
参考図書					

科目コード【1201】

評価方法	<p>*レポート提出</p> <p>*その他、意見発表と討議など（平井）</p> <p>*各回の授業の最後を書いてもらうリアクションペーパー、あるいはレポート（学期末に提出）（宮本・林・西脇）</p>
課題に対するフィードバック	コメントを付して後刻返却します。
事前・事後学習	*あらかじめ翻訳テキストないしは原典を読んでおいてください。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	イントロダクション	フランス文学の特徴 アルベール・カミュ概論 講読 1.	平井 康和
2	日常生活 ―社会―	講読 2. 意見発表と論点の整理	平井 康和
3	個としての存在	講読 3. 討議	平井 康和
4	世界はどのように見えているのか	講読 4. 意見発表と論点の整理	平井 康和
5	まとめ	講読 5. 討議	平井 康和
6	映像表現にみる文学性 1	映像とことば、サイレントフィルム	宮本 高晴
7	映像表現にみる文学性 2	映像によるストーリーテリング（1）	宮本 高晴
8	映像表現にみる文学性 3	映像によるストーリーテリング（2）	宮本 高晴
9	英米文学	アメリカ小説に見る看護師像——ルイーザ・メイ・オルコットより	林 美穂子
10	英米文学	イギリス小説による看護師像——J・K・フローリングより	林 美穂子
11	ドイツ文学	ドイツ文学のジャンルと特徴、 ドイツ詩法、ドイツの詩（ゲーテ）	西脇 麻衣子
12	ドイツ文学	ドイツの詩（ハイネ）	西脇 麻衣子
13	ドイツ文学	ドイツの詩（リルケ）	西脇 麻衣子
14	ドイツ文学	ドイツの詩（ブレヒト）	西脇 麻衣子
15	ドイツ文学	ドイツの詩（ツェーラン） まとめ	西脇 麻衣子
—	定期試験は行なわない		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
生物と進化	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年前期	講義
	自然を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 太田一正 [担当教員] 太田一正、篠田 章、 河西亜希子、田中千香也		太田：月・木 17:00～19:00、生物学第2研究室 篠田：月・火 17:00～19:00、生物学第2研究室 河西：火・木 16:30～18:00、生物学第2研究室 田中：月・木 17:00～19:00、生物学第2研究室			
授業のねらい	<p>生物であるヒトを理解するために、生物とは何かについて知ることが必要である。「生物と進化」では、現在この地球上に生きている生物だけではなく、かつて生きていた生物も対象として、途切れることなく続いてきた生命の歴史といま生きているとはどういうことかを学ぶ。</p> <p>そこで、生物の体を構成する基本的単位である細胞の共通性と多様性について理解する。また、生物が示す多様性を生む機構の共通性がDNAに記された遺伝情報に基づいていることを理解する。さらに、ヒトの進化の過程を分子生物学や理論的な立場から総合的に学び、生物としてのヒトを理解する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>①細胞の誕生と細胞内構造の発達とその機能を説明できる。</p> <p>②性の獲得の利点と細胞の増殖の仕組みとの関係を説明できる。</p> <p>③DNAの複製とそのエラーの仕組み及び遺伝子発現と細胞の役割について説明できる。</p> <p>④遺伝の仕組みを説明できる。</p> <p>⑤進化とその仕組みを説明できる。</p> <p>⑥ヒトが進化した過程を説明できる。</p>				
教科書	エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版、池内正彦他監訳、丸善出版、2016年				

科目コード【1103】

参考図書	キャンベル生物学 原書9版、池内昌彦他監訳、丸善出版、2013年 ラングマン人体発生学 第11版、安田峯生他訳、MED S i、2016年
評価方法	中間試験 40%、期末試験 40%、レポート 20%
課題に対する フィードバック	答案、レポートは採点後に個別に開示する。
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・講義項目と内容を確認して該当する教科書の項目を予習し、疑問点をまとめておく（30分程度）。 ・教科書・配布資料に沿って、スライドを中心とした講義を行うが、板書等を書き留めるためのノートを用意する。 ・教科書・講義資料・ノートをふりかえり・復習するとともに、予習で抽出した疑問点が解決できたかを確認する（60分程度）。 ・もう少し詳しい内容を学びたいときは、参考図書などを利用することを勧める。 ・本科目では、高校「生物」の履修歴は問わない。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	ガイダンス 生命の本質	生命の本質と生物学の主要なテーマ 生命の科学的研究 生命をつくる分子とATP	太田
2	細胞の構造と機能	生物の基本単位としての細胞 オルガネラの構造と機能 膜の機能	太田
3	細胞の増殖	細胞周期と有糸分裂 細胞の情報伝達	河西 太田
4	生殖の仕組みと配偶子形成	生殖と性 減数分裂 配偶子形成	太田
5	ヒトの初期発生	排卵・受精・着床 胚子期の発生	太田
6	DNAの構造と機能	DNAの構造と複製 遺伝情報の流れ（転写・翻訳）	太田 田中
7	遺伝子の発現制御と変異	遺伝子発現制御の目的と機構 染色体突然変異・遺伝子突然変異	太田
8	前半のまとめと総括 中間試験と解説	まとめと総括 中間試験とその解説	太田、篠田 河西、田中

科目コード【1103】

9	メンデル遺伝	対立遺伝子 遺伝子型・表現型	篠田 河西
10	連鎖	連鎖群 染色体地図	篠田
11	集団遺伝	遺伝子プール・遺伝子頻度 ハーディ・ワインベルグの法則	篠田
12	進化の要因	生物の変異と自然選択 遺伝的浮動・遺伝子流流動・非ランダム交配	篠田
13	分類	種・学名 分類群の階級 現生生物の分類	田中 篠田
14	系統	生命の単系統性 系統樹	篠田
15	ヒトの進化	生物界の変遷 ヒトの進化史	篠田
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
現代社会と法（憲法）	一般教育科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	社会を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
和泉澤千恵		原則として、講義前後・非常勤講師室 (なお、必要があれば質問事項を文書にて記載の上、当該文書を学務課に預けて下さい。)			
授業のねらい	<p>国の基礎法・根本法である日本国憲法を通読することによって、日本国民の権利義務の内容を把握すること、加えて、現代社会の仕組みや看護と法の関わりについて理解することを目的とする。例えば、①法についての基礎的知識と法令の構造や法の解釈、法の考え方や仕組みなどの基本事項、②日本国憲法と医療などをめぐる法制度との関係、③裁判の仕組みと看護業務に関連する裁判例、④労働に関連する法規等について学ぶ。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1. 法についての基本的知識や法の仕組み等の法令に関する基本事項について理解し、自身で法令を読むことができる</p> <p>2. 日本国憲法の内容について把握し、自分なりの考察をすることができる</p> <p>3. 裁判の仕組みや看護と法との関連を理解し、問題点などを考察することができる</p>				
教科書	<p>「ポケット六法 平成29年度版」山下友信・山口厚編、2016（有斐閣）</p> <p>なお、必要に応じて、講義レジュメ等を配布する予定である。</p> <p>「系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4]看護関係法令」森山幹夫、2017（医学書院）</p>				
参考図書	<p>「医療六法 平成29年度版」2017（中央法規出版）等の法令集／「医事法判例百選 第2版（別冊ジュリスト219号）」甲斐克則・手嶋豊編、2014（有斐閣）／「看護のための法学 第4版」野崎和義・柳井圭子 著、2016（ミネルヴァ書房）</p>				

	／「医事法講義」米村滋人 2016（日本評論社）／「医事法入門 第4版」手嶋豊 2015（有斐閣）／など
評価方法	原則として定期試験100% (なお、評価にあたっては、受講態度や授業への参加度なども加味する。)
課題に対するフィードバック	成績評価試験に関する評価問い合わせが特にあった場合には個別に対応を検討
事前・事後学習	事前学習：講義前に条文を一読し、どのような内容が書かれているのかについて把握しておくことが望ましい。また、講義時に事前に読む旨の指示がなされた事項については、一読の上、何が書かれているか、また、疑問点や問題点について自分なりに整理して受講すること。 事後学習：講義内容を整理し、講義において提示された問題などについて自分なりに考えて意見をまとめ、必要があれば周囲と議論するなどして理解を深めることが望ましい

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	現代社会と法	法とは何か	和泉澤千恵
2	法の概念	法の種類・優劣・効果	和泉澤千恵
3	法の読み方	法令の構造、法の解釈	和泉澤千恵
4	憲法：概論	憲法とは何か、日本国憲法の成立	和泉澤千恵
5	憲法の構造、天皇制、平和主義	日本国憲法の構造、前文、天皇、戦争の放棄	和泉澤千恵
6	統治機構（1）	統治機構の基本原則－国民主権、権力分立－	和泉澤千恵
7	統治機構（2）	三権分立①：立法権（国会） 三権分立②：行政権（内閣）	和泉澤千恵
8	統治機構（3）	三権分立③：司法権（裁判所） 財政・地方自治	和泉澤千恵
9	基本的人権（1）－0	国民の権利及び義務① ：基本的人権の享有・国民の義務	和泉澤千恵
10	基本的人権（1）－1 勤労の義務・勤労の権利	労働関連法規	和泉澤千恵
11	基本的人権（2）－0	国民の権利及び義務② ：身体の自由と適正手続きの保障	和泉澤千恵
12	基本的人権（2）－1 人身の自由・裁判を受ける権利	裁判の仕組み	和泉澤千恵
13	基本的人権（2）－2 人身の自由・裁判を受ける権利	看護業務に関連する裁判例 ：看護事故にともなう法的責任	和泉澤千恵
14	基本的人権（3）－0	国民の権利及び義務③	和泉澤千恵

科目コード【1302】

		: 経済的自由権・精神的自由権・社会権	
15	基本的人権（3）－1 生存権	日本国憲法 25 条と衛生法規 : 医療提供体制に関連する法制度の概要	和泉澤千恵
－	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
文化人類学	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年次 前期	講義
	保健医療福祉のしくみ				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 倉田 誠 [担当教員] 倉田 誠		水曜 13:00~14:30 金曜 15:00~17:00 第三校舎 2階 生命倫理学研究室(倉田研究室) メールアドレス: m-kurata@tokyo.med.ac.jp			
授業のねらい	ケアの実践学としての看護学では、臨床技術に関する知識だけでなく、それを取りまく社会の複雑さや価値観の多様さへの理解や配慮が欠かせません。この授業では、健康に関する具体的な社会現象を題材としてグループで検討することで、対象をより広範で複合的な社会現象としてとらえ、自己の規範や価値においては問われないことを問い直す視点を養います。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	(1) 人間概念の多様性を具体的な事例に即して説明できる。 (2) 病気に関わる諸現象を疾病/病気/病いという区別を使って説明できる。 (3) 特定の社会における病気行動やその説明を「説明モデル」という概念を使って分析できる。 (4) 医療介入に関する倫理的問題に関して、相対主義的立場を踏まえたうえでその問題点を説明できる。 (5) 現代医療のグローバル化がもたらす社会的影響について具体的な事例にもとづいて説明できる。				
教科書					
参考図書					

科目コード【1303】

評価方法	グループワークへの参加 30% 相互評価 20% 期末試験 50%
課題に対する フィードバック	グループワーク等の成果は「e 自主自学」上にアップロードし、必要に応じて講評を行います。
事前・事後学習	事前学習：授業前に予定されている課題や資料を読み、必要な情報を自主的に収集・整理して学習ノートにメモしてくることを求めます。これが授業参加の前提となります。その過程で疑問点などがあれば、それも書き出しておいてください。 事後学習：授業中にグループワークや他グループによる発表の要点、および講評の内容を学習ノートに記入してください。授業終了後は、それらと予習してきた内容との比較検討を行い、より多元的で広範な視野や思考の習得に努めましょう。講評に関して不明な点がある場合は、オフィスアワー等を活用して教員に質問してください。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	イントロダクション	本授業の目的や予習復習の方法を説明しながら、看護と人類学の関わりを解説します。	倉田 誠
2	練習ワーク	具体的な題材を取り上げ、人類学的思考のあり方を紹介します。	倉田 誠
3	嬰兒殺し「どのようにして“人”となるのか？」	人間概念の多様なあり方に触れながら、人格について考えます。	倉田 誠
4	遺体処置「遺体はどのように扱われるべきか？」	生者に関する尊厳と死者に関する尊厳の違いを探り、社会による差異も考えます。	倉田 誠
5	インターセックス「彼女は男なのか？」	性差を題材として、身体と社会規範の関係について議論します。	倉田 誠
6	民間医療「“病気になる／病気を治す”とは？」	疾病/病気/病いの違いを理解し、病者を理解する際の合理性の問題を検討します。	倉田 誠
7	心身症「こころの問題？身体の問題？それとも？」	説明モデルという概念を使いながら、心身概念が抱える問題について考えます。	倉田 誠
8	児童虐待「なぜ私が誰かをケアしなければならないの？」	ケアにおける主体性の問題からケアする者を取りまく社会規範について考えます。	倉田 誠
9	身体障害「不自由なことは不幸なこと？」	社会のなかで障害という概念や他者性がいかに用いられているのかを省察します。	倉田 誠
10	ALS「“意思疎通する”とはどういうことか？」	臨床における「コミュニケーション」や「翻訳」ということの意味を考えます。	倉田 誠
11	認知症介護「世界はどのように見えているか？」	対象者の「認知」や「理解」を捉える方法とその妥当性について議論します。	倉田 誠

科目コード【1303】

12	終末医療「何のために加療するのか？」	医療テクノロジーによる介入に関して、なにが「自然」といわれているかを検証します。	倉田 誠
13	代理母ビジネス「誰と誰の取引か？」	グローバルな医療サービスの展開から贈与／収奪や身体をめぐる政治の問題を考えます。	倉田 誠
14	課題ワーク	これまで学習した知識と思考方法をもとにして、グループで課題に取り組みます。	倉田 誠
15	課題ワーク	これまで学習した知識と思考方法をもとにして、グループで課題に取り組みます。	倉田 誠
—	定期試験		

科目コード【1401】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
情報科学	一般教育科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	問題解決				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 荻谷 光晴 [担当教員] 荻谷 光晴		講義前後の非常勤講師室、または下記連絡先で随時受付 e-mail : ogiya@kanagawa-u.ac.jp			
授業のねらい	<p>情報社会を生きるにあたって、情報の取り扱いを適切に行うセンスとスキルを身につけるために、情報倫理、情報リテラシー、インターネット、情報システムなどについて基本的な知識を学ぶ。また、コンピュータ上で、情報がどのように処理されているのか基本原理を学び、知的財産権、プライバシーなど情報をめぐる倫理的問題や法について学ぶとともに、看護現場やインターネット上で、情報をどのように扱うべきかを理解する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p>□①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p>□②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p>□③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p>□⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを扱う基本的な知識や技術を修得できる。 2. 情報倫理と情報通信セキュリティについての知識を修得し、判断できる。 3. 安全性を考慮した情報の扱い方が可能となる。 				
教科書	なし				
参考図書	必要な場合は、授業中に呈示する。				
評価方法	中間チェック (40%)、定期試験 (40%)、毎回の授業における演習問題 (20%)				
課題に対するフィードバック	演習問題、中間チェックの解説は授業内で行い、次週までに添削して質問等の返答を行う。				
事前・事後学習	事前学習：講義内容について、理解していない内容を明確にして受講すること。 事後学習：講義資料や演習問題を見直し、理解不足な点を復習すること。				

科目コード【1401】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	情報科学の導入	情報の概念・基礎・表現・伝達方法と 近年の情報のあり方	荻谷 光晴
2	情報技術の基礎(1)	基本的な情報技術とコンピュータの構造	荻谷 光晴
3	情報技術の基礎(2)	情報表現の仕方とマルチメディア	荻谷 光晴
4	情報倫理(1)	情報化社会の概念とセキュリティの必要性 情報倫理と情報リテラシー	荻谷 光晴
5	情報倫理(2)	個人情報保護法 著作権と知的財産	荻谷 光晴
6	情報科学の基礎について	コンピュータと情報技術、倫理について	荻谷 光晴
7	中間まとめ	第1回～第6回までの中間チェック	荻谷 光晴
8	ネットワークの基礎(1)	ネットワークの概念と基礎技術	荻谷 光晴
9	ネットワークの基礎(2)	インターネットの通信技術	荻谷 光晴
10	ネットワークの基礎(3)	インターネット技術とその応用	荻谷 光晴
11	情報リテラシー	セキュリティとコンピュータウイルス ネットワークにおける脅威と脆弱性	荻谷 光晴
12	情報セキュリティ(1)	情報セキュリティと暗号化技術の基礎	荻谷 光晴
13	情報セキュリティ(2)	暗号化技術の応用と認証システム	荻谷 光晴
14	情報セキュリティと対策	ネットワークの脅威と対策について	荻谷 光晴
15	総合応用	情報科学の応用について	荻谷 光晴
—	定期試験		

科目コード【1501】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
英語 I (基礎)	一般教育科目	2 単位 (15 時間)	必修	1 年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 宮本高晴 [担当教員] 及川一美		木曜日昼休み (英語第一研究室)、授業後 (担当教室) また、看護学科学務課を通して質問をお受けします			
授業のねらい	将来看護師として働くために必要な英語力、その基本を身につけることを目標とします。看護師という職業は、他の人とくさまざまな状況において) (さまざまな形態で) コミュニケーションをとる必要にせまられます。そういうことを念頭において、積極的な姿勢を忘れずに、基本的な日常英語表現の習得につとめてもらいます。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解しケアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 文法の理解に基づき、英文の内容を正しく聞き、正しく読むことができる。 2. 文法にかなった正しい英語を話し、正しい英文を書くことができる。 3. 他の人たちとコミュニケーションをとる積極的な態度を身につけることができる。				
教科書	「DVD で学ぶ看護英語コミュニケーションスキル」著者：園城寺 康子 John Skelton 2,500 円 (税込 2,700 円) ISBN 9784791931200				
参考図書	講義中に指示致します。				
評価方法	平常点 (予習状況、授業態度、出席状況、授業内課題の完成度など) 約 50% 到達度確認テスト 約 50%				
課題に対する フィードバック	授業中のパフォーマンス、各回提出物の状況を見計らいながら、問題別にフィードバックいたします。				
事前・事後学習	事前学習：課題の英文を読み、わからない単語を辞書で調べ書き込み、理解できないところを授業中に質問できるように準備する。 事後学習：講義で学んだ単語の意味・文章の解説・文法事項を書いて覚え、会話				

科目コード【1501】

	文を声に出して読み自然な会話になるように練習する。
--	---------------------------

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	Greetings	語彙：医療従事者	及川一美
2	Giving Explanations	語彙：体の外部図	及川一美
3	Tests (X-ray)	語彙：体の頭部	及川一美
4	Inviting the Patient to Talk, and Listening	語彙：体の内部図	及川一美
5	Nursing Care and Asking Permission	語彙：看護処置用品	及川一美
6	Injection	語彙：感染症と予防接種	及川一美
7	Vital Signs	語彙：体温・体重・身長の換算	及川一美
8	Rehabilitation	Asking Questions	及川一美
9	Operation	健康に関する諺	及川一美
10	Positioning the Patient and Giving Instructions	痛みの表現	及川一美
11	Medication	語彙：疾病と創傷 1	及川一美
12	Discharge and Goodbye	語彙：疾病と創傷 2	及川一美
13	Negotiation Management	Tips for nursing communication	及川一美
14	Consultation (Pregnancy)	語彙：看護・医療用品	及川一美
15	Consultation (Cancer)	略語	及川一美
—	定期試験		

科目コード【1501】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
英語 I (基礎)	一般教育科目	2 単位 (15 時間)	必修	1 年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 宮本高晴 [担当教員] 横田まり子		木曜日昼休み (英語第一研究室)、授業後 (担当教室) また、看護学科学務課を通して質問をお受けします。			
授業のねらい	<p>将来看護師として働くために必要な英語力、その基本を身につけることを目標とします。看護師という職業は、他の人とくさまざまな状況において) (さまざまな形態で) コミュニケーションをとる必要にせまられます。そういうことを念頭において、積極的な姿勢を忘れずに、基本的な日常英語表現の習得につとめてもらいます。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p>□①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p>□②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p>□③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p>□④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p>□⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1. 文法の理解に基づき、英文の内容を正しく聞き、正しく読むことができる。</p> <p>2. 文法にかなった正しい英語を話し、正しい英文を書くことができる。</p> <p>3. 他の人たちとコミュニケーションをとる積極的な態度を身につけることができる。</p>				
教科書	FACE to FACE: To Better Understand Japanese and American Culture, 著者 Masakazu SOMEYA, Fred FERRASCI, Paul MURRAY 発行年 2015, 出版社 SANSHUSHA				
参考図書	授業時に随時指示します。				
評価方法	平常点 (予習状況、授業態度、出席状況、授業内課題の完成度など) 約 50% 到達度確認テスト 約 50%				
課題に対する フィードバック	授業中のパフォーマンス、各回提出物の状況を見計らいながら、問題別にフィードバックいたします。				

科目コード【1501】

事前・事後学習	<p>事前学習：課題の英文を読み、わからない単語を辞書で調べ書き込み、理解できないところを授業中に質問できるように準備する。</p> <p>事後学習：講義で学んだ単語の意味・文章の解説・文法事項を書いて覚え、会話文を声に出して読み、自然な会話になるように練習する。</p>
----------------	--

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	Orientation	授業の概要説明、ウォーミングアップ	横田まり子
2	Unit 1	Why do Japanese study hardest before, not during, college?	横田まり子
3	Unit 3	Why are Japanese obsessed with brand names?	横田まり子
4	Unit 4	Why are so many Americans overweight?	横田まり子
5	Unit 5	Why do Japanese do things in groups?	横田まり子
6	Review	Review of the previous units and extra activity #1	横田まり子
7	Unit 6	Why are Americans so outspoken?	横田まり子
8	Unit 7	Why can't more Japanese speak English?	横田まり子
9	Unit 9	Why do Japanese open gifts so slowly?	横田まり子
10	Unit 10	Why does America go to war with so many countries?	横田まり子
11	Review	Review of the previous units and extra activity #2	横田まり子
12	Unit 12	Why do Americans think their way is the only way?	横田まり子
13	Unit 13	Why does Japan support whaling?	横田まり子
14	Unit 14	Why do Americans let people own guns?	横田まり子
15	Review	Review of the previous units and extra activity#3	横田まり子
—	定期試験		

科目コード【1501】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
英語 I (基礎)	一般教育科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 宮本高晴 [担当教員] 瀧澤英子		木曜日昼休み(兼任講師室)、授業後(担当教室) また、看護学科学務課を通して質問をお受けします。			
授業のねらい	将来看護師として働くために必要な英語力、その基本を身につけることを目標とします。看護師という職業は、他者と(さまざまな状況において)(さまざまな形態で)コミュニケーションをとる必要にせまられる、ということを念頭において、積極的な姿勢を忘れずに、基本的な日常英語表現の習得につとめてもらいます。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (口にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 文法の理解に基づき、英文の内容を正しく聞き、正しく読むことができる。 2. 文法にかなった正しい英語を話し、正しい英文を書くことができる。 3. 他の人たちとコミュニケーションをとる積極的な態度を身につけることができる。				
教科書	Mayuzumi, Michiko et al. <i>Caring for People</i> . Cengage Learning, 2014.				
参考図書	講義中に指示いたします。				
評価方法	平常点(予習状況、授業態度、出席状況、授業内課題の完成度など)約50% 到達度確認テスト 約50%				
課題に対する フィードバック	授業中のパフォーマンス、各回提出物の状況を見計りながら、問題別にフィードバックいたします。				

科目コード【1501】

事前・事後学習	<p>事前学習：課題の英文を読み、わからない単語を辞書で調べ書き込み、理解できないところを授業中に質問できるように準備する。</p> <p>事後学習：講義で学んだ単語の意味・文章の解読・文法事項を書いて覚え、会話文を声に出して読み、自然な会話になるように練習する。</p>
----------------	--

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	Introduction		瀧澤英子
2	Meeting Patients1	語彙：生活習慣や病歴にかんする語句	瀧澤英子
3	Meeting Patients2	会話練習：患者から基本情報を得る	瀧澤英子
4	Assessing Patients' Symptoms1	語彙：病床にかんする語句	瀧澤英子
5	Assessing Patients' Symptoms2	会話練習：症状、経過を尋ねる	瀧澤英子
6	Assessing Pains1	語彙：疾病や負傷による痛みにかんする語句	瀧澤英子
7	Receiving the Visitors to the Hospital	診察受付 外来者に対する道案内	瀧澤英子
8	Assessing Pains2	会話練習：痛みの部位、程度、期間、変化を尋ねる	瀧澤英子
9	Conducting Medical Examinations1	語彙：検査項目、器具、コメディカルの呼称	瀧澤英子
10	Conducting Medical Examinations2	会話練習：検査時の指示や適切な声かけ	瀧澤英子
11	Advising about Medication1	語彙：薬の種類、作用にかんする語句	瀧澤英子
12	Advising about Medication2	会話練習：薬の服用法を説明する。薬歴を尋ねる。	瀧澤英子
13	Caring for Inpatients1	語彙：病院内での規則や日課にかんする語句	瀧澤英子
14	Caring for Inpatients2	会話練習：入院患者をケアする際の声かけ	瀧澤英子
15	Review	到達度の確認	瀧澤英子

科目コード【1501】

—	定期試験
---	------

科目コード【1504】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
スペイン語	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
宮城春美		授業終了後に教室で質問を受け付ける			
授業のねらい	<p>生の言語に触れよう</p> <p>【授業の概要】スペイン語の基本文法を学び、単語力を身につけ、スペイン語で日常会話が話せるようになること。</p> <p>授業の中で、一人一人に発表をする時間を与え、生の言語に触れる。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>スペイン語を楽しみながら、日常会話をスムーズに話すことができるようになることを目的とします。会話を進める中でも簡単な文法の理解を織り交ぜることで、よりスペイン語の理解を高めていきます。</p>				
教科書	<p>スペイン語文法の正要点 二宮哲 朝日出版社</p>				
参考図書	なし				
評価方法	授業態度、課題、試験 課題を中心に評価する。				
課題に対する フィードバック	あり				
事前・事後学習	<p>事前学習 なし</p> <p>事後学習必ず授業の復習をする</p>				

科目コード【1504】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	アルファベット スペイン語の読み方	はじめてスペイン語とふれあう。 どのような言語であるか、読み方、など	宮城春美
2	自己紹介・挨拶	自分の自己紹介・会エア練習 始めてあった時の挨拶	宮城春美
3	名詞・アクセント・形容詞	区別の仕方・単数・複数など 形容詞の変化の仕方	宮城春美
4	S e r 動詞の働き	主語人称代名詞・疑問文・否定文の仕方 会話の練習	宮城春美
5	所有形容詞・時間の表現	時間の読み方 自分の家族やものを発言する練習	宮城春美
6	Estar 動詞の働き	場所、様態、に表す動詞 スペイン語の Be 動詞 発言の練習	宮城春美
7	規則動詞の働き	動詞の活用の仕方 作文の書き方・会話練習	宮城春美
8	規則動詞の働き（2）	他のグループの動詞の活用の仕方 会話練習・ロールプレイ	宮城春美
9	直接・関節目的語の代名詞	質問の仕方・答えの仕方 代名詞の働き	宮城春美
10	現在形の不規則動詞	動詞の変化の仕方 会話練習	宮城春美
11	一人称の不規則動詞	日常会話でよく使える動詞 個人発表	宮城春美
12	点過去の規則動詞	規則動詞の活用 過去の発言・過去の行動	宮城春美
13	点過去の不規則動詞	不規則動詞の活用変化 グループ発表	宮城春美
14	好き動詞と仲間動詞	動詞の活用・仲間動詞 好き・嫌いの発言	宮城春美
15	復習・まとめ	今まで学習したところ、期末試験に向けて復習をする	宮城春美
—	定期試験		

科目コード【1505】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
韓国語	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 林 世涓(イム セヨン) [担当教員] 上同		講義終了後・非常勤講師室 又はメールで。メールアドレスは授業中にお知らせする。			
授業のねらい	<p>韓国語の文字であるハングルの歴史的な背景と日本語と韓国語の類似点及び相違点を学ぶ。</p> <p>また、韓国語の基礎的な読み書きを覚えて身の回りの語彙を韓国語で覚える。韓国語との出会いによって新しい経験を楽しんでもらうことを教育の目標とする。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1. ハングルの読み書きができる。</p> <p>2. 基本的な挨拶を始め、自己紹介、指示を表す表現、数字などを覚える。</p> <p>3. 名詞・動詞・形容詞の肯定文・否定文・疑問文が言えるようになる。</p> <p>4. 場所を聞いたり、答えることができる。</p> <p>5. 自分の電話番号と誕生日が言えるようになる。</p>				
教科書	<p>『韓国語レッスン初級Ⅰ』</p> <p>著者： キム・トンハン／チャン・ウニョン (スリーエネットワーク)</p> <p>講義資料も配布する。</p>				
参考図書	<p>特にない。</p>				
評価方法	<p>前期試験：期末テスト 70%</p> <p>小テスト：20%</p> <p>注意事項：出席率が 2/3 以上の者が、最終評価の対象となる</p>				

科目コード【1505】

課題に対する フィードバック	前回勉強した内容を小テストで確認する。
事前・事後学習	履修する前にハングルの基本母音 10 個ぐらいは覚えてもらいたい。 毎回の授業後に復習をしてもらいたい。

授業 回数	項 目	講義内容	担当者
1	教科のオリエンテーション ハングルと韓国語	韓国語を始めた理由を聞く。 ハングルの歴史的な背景とハングルについて	イム・セヨン
2	基本母音	基本母音 10 個を学ぶ。 正しい発音を身につけるコツ。	イム・セヨン
3	基本子音	基本子音 14 個を学ぶ。	イム・セヨン
4	濃音と合成母音	基本母音の復習をしながら合成母音を学ぶ。 日本語にもある濃音の練習。	イム・セヨン
5	終声 (パッチム)	日本語には無いパッチムを勉強する。	イム・セヨン
6	発音のルール	ハングルの発音のルールとその例外について 単語を覚えながら学ぶ。	イム・セヨン
7	復習	今まで勉強したことについて復習をする。	イム・セヨン
8	第 1 課 挨拶	自己紹介と名詞の「です」形とその否定形。	イム・セヨン
9	第 2 課 指示詞	指示詞 陰母音と陽母音	イム・セヨン
10	第 3 課 場所を表す表現	場所を尋ねる練習。	イム・セヨン
11	第 3 課 数字	漢数字と固有数字を覚える。	イム・セヨン
12	第 4 課 動詞	動詞の疑問文に対して肯定文・否定文で答える。	イム・セヨン
13	第 5 課 形容詞	形容詞の疑問形で聞いて答える練習。	イム・セヨン
14	第 5 課 約束をする	時間と場所表現を使って約束をする練習。	イム・セヨン
15	まとめ	全体の復習	イム・セヨン
—	定期試験		

科目コード【1506】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
中国語	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年前期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]金子真生 [担当教員]金子真生		木曜昼休み 非常勤講師室			
授業のねらい	中華圏における医療ツーリズムの広がりによって、日本国内で医療サービスを受けようとする中国人が多数来日している。本講義では、医療系学生のための中国語を学び、中国人をはじめとする外国人の受診者にどう対応していくべきかを考えたい。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	単語レベル、フレーズレベルでもかまわないので、中国語ネイティブに伝わる発音で症状、病院内施設、予定などを伝えられるようになること。 ①知識・理解 中国の概要を理解できる。②思考・判断 場面に応じた正しい表現を選択できる。③意欲・関心 積極的に中国、中国語、中国人を理解しようとしている。④態度 自学自習を心がけている。⑤技術 基本的な発音をマスターしている。				
教科書	医療系学生のための初級中国語 山田真一 白帝社				
参考図書	授業内に指示。 iPadを使うので、必ず持参のこと。				
評価方法	定期試験 (70%)、課題への取り組み (20%)、意欲関心態度 (10%)				
課題に対する フィードバック	試験後に、答案を返却し、内容に対する解説を行う。				

事前・事後学習	ノート作成を義務付けるので、確実に予習を行うこと。 また、CDを使って発音練習をすること。
----------------	--

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	発音 1	単母音、子音、声調の練習	金子 真生
2	発音 2	前回の復習、複合母音の練習	金子 真生
3	発音 3	発音まとめ	金子 真生
4	第一課	あいさつ言葉を使い分けられる	金子 真生
5	第二課	相手の名前、国籍、所属を尋ねられる	金子 真生
6	第三課	健康保険証を持っているか聞くことができる	金子 真生
7	第四課	家族構成を尋ねることができる	金子 真生
8	第五課	時間に関する表現を使える	金子 真生
9	第六課	possible の助動詞の使い分けができる	金子 真生
10	第七課	検査室へ誘導することができる	金子 真生
11	第八課	患者の具合を尋ねることができる	金子 真生
12	第九課	～してくださいと依頼することができる	金子 真生
13	第十課	薬の服用歴を尋ねることができる	金子 真生
14	第十一課	処置文を理解できる	金子 真生

科目コード【1506】

15	第十二課	患者への気遣いができる	金子 真生
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護学概論	専門科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	看護の基礎				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]阿部幸恵 [担当教員]伊藤綾子		研究室にて、授業後等随時、事前のアポイントによる 阿部 y-abe@tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	看護とは何か、看護の対象とは、社会における看護の価値や看護の専門性、とはどのようなものかについて学生自身が深く考え、自らの看護観を構築する基盤を養う。具体的には、日本と世界の看護の歴史、専門職としての看護の機能や役割、看護を考える上で重要な概念、主要な看護理論の概略、看護援助の範囲、看護の場と対象について、講義やグループディスカッションを通して学ぶ。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 看護とは、看護の対象とは何かについて理解できる。 2. 世界および日本の看護の発展の歴史について理解できる。 3. 看護の専門性、看護の機能と役割を理解できる。 4. 看護理論とは何か、その発展の歴史を理解できる。 5. 自身の看護観を表現できる。				
教科書	デジタル・ナーシング・グラフィカ、18巻「看護学概論」 フロレンス・ナイチンゲール著、湯槇ます他訳「看護覚え書」、改訂第7版、現代社、2011年				
参考図書	・筒井真由美編：看護理論改訂第2版、南江堂、2015年 ・バージニア・ヘンダーソン著、湯槇ます他訳「看護の基本となるもの」、再新装版、日本看護協会出版会、2016年				
評価方法	定期試験 60%、確認テスト、事前・事後課題 40%				

科目コード【3101】

課題に対する フィードバック	授業中に個人もしくは集団に対してフィードバックを行う。
事前・事後学習	事前学習：授業前に提示する事前課題を仕上げ授業に臨む。 事後学習：授業の目標を振り返り、到達したかどうか、その内容について振り返りを行う。授業の中に初めて聞いたり、目にしたりした用語については、自身で調べて理解できるようにする。次の授業までに調べ、理解するように勤める。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	ガイダンス 看護とは	看護とは何か、看護の特性、定義、看護師のイメージについて理解する	阿部幸恵
2	看護の歴史①原始～中世	古代から中世までの看護の歴史や成り立ちについて理解する。	阿部幸恵
3	看護の歴史②近代～現代	近代から現代の看護の歴史や動向について理解する。	阿部幸恵
4	看護理論とは①	看護理論とは何か、看護理論の変遷について理解する。	阿部幸恵
5	看護理論とは②	ナイチンゲール、ヘンダーソン、ペプロウ、オレム他の理論について概要を理解する。	阿部幸恵
6	ヘンダーソンの看護理論	ヘンダーソンの看護理論の概念を理解する。	阿部幸恵
7 8	看護の役割と機能	看護の定義から見た看護の役割・機能とは何か、看護の対象や看護の場とは、看護の組織とその役割とは何かを理解する。	阿部幸恵
9	看護の提供システムと他職種との連携	多職種との連携とは何か、看護職者がとるべく役割とはどのようなものか、看護の提供システムとは何かを理解する。	阿部幸恵
10	看護実践の基盤とは	看護技術とその特性、実践知とは何か、看護技術を実践するプロセスとは何かを理解する。	伊藤綾子
11	看護実践と倫理	看護における倫理的問題や課題とは何かを理解する。	伊藤綾子
12	看護と法、経済、政策、医療安全	看護に関わる法律、医療制度の仕組みと看護経済、看護行政や政策課題について理解する。	伊藤綾子
13	保健・医療・福祉における看護	保健・医療・福祉の理念と看護、保健・医療・福祉の提供システムにおける看護や協働について理解する。	伊藤綾子

科目コード【3101】

14	看護の専門性、専門職としての看護	看護の専門性とは何か、専門職としての看護、根拠に基づく看護とは何かを理解する。	阿部幸恵
15	看護・看護学の展望	看護学の発展と課題、専門職者としての責務について理解する。	阿部幸恵
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護リテラシー I (概念の理解)	専門科目	1単位 (30時間)	必修	1年前期	講義 演習
	看護の基礎				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 瀬戸山陽子 [担当教員]		随時可能です。事前にメールでご連絡をお願いします。 setoyama@tokyo-med.ac.jp 研究室：第2看護学科棟 304			
授業のねらい	本科目のねらいは、大学生に求められる基本的なリテラシー（読み書き能力）を身に着けることです。適切な情報源にアクセスし、情報を理解するとともに、適切な形式に則って分かり易い文章を書き、相手に物事を伝える能力を身に着けることを目標としています。同時に、看護の対象である市民の健康医療情報の利用やその意義について知り、保健医療の専門職として市民の情報支援ができるようになるために、ヘルスリテラシーや意思決定支援の概要について理解することを目指します。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1) 情報を得て、理解し、判断し、意思決定するという情報処理プロセスを理解できる。 2) 様々な情報源の特徴を理解し、目的に合わせて使い分けることができる。 3) 複数の文献データベースを使い、目的に沿った情報を入手することができる。 4) 適切な内容で、既定の形式に則ったレポートを書くことができる。 5) 保健医療の情報の種類や入手方法について理解し、情報を活用できる。 6) ヘルスリテラシーを理解し、意思決定支援の場面やその必要性について理解できる。 7) 概念の意味を知り、現象を概念化することの必要性について理解できる。 8) 患者の権利と個人情報の扱いについて、理解できる。				

科目コード【3105】

教科書	<p>毎回資料を準備します。</p> <p>授業には必ず iPad を持参してください。</p>
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山和弘他「看護情報学」医学書院、2016 ・ 酒井聡樹著「これからレポート・卒論を書く若者のために」、共立出版、2014 ・ 酒井聡樹著「これから論文を書く若者のために」、共立出版、2013 ・ 三輪眞木子著「情報検索のスキル」、中公新書、2005 ・ 木下是雄著「理科系の作文技術」中公新書、2015 ・ 山崎康司著「入門 考える技術・書く技術」ダイヤモンド社、2011 ・ 石田一成著「大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社、2013 ・ 高谷修著「看護師に役立つレポート・論文の書き方」、金芳堂、2011※ ・ 佐藤淑子他著「看護師のための Web 検索・文献検索入門」医学書院、2013 ・ 福田洋他「ヘルスリテラシー[健康教育の新しいキーワード]」、大修館書店、2016
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加態度：30% ・ 小テスト 36%（知識の定着を評価する） ・ 個人課題：34%（目標とする技術が身についているかを評価する）
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストに関しては、授業内でフィードバックを行います。 ・ 個人課題に関しては、e 自主自学上もしくは、紙面にてフィードバックを行います。
事前・事後学習	<p>前の回の授業で扱った内容について、小テストを行います。各自復習してください。小テストの詳細については、オリエンテーションでガイダンスを行います。</p>

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の流れ、進め方 ・ 出席、成績、課題、オフィスアワーについて 	瀬戸山陽子
2	情報処理プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の定義 ・ 情報処理プロセス 	瀬戸山陽子
3	多様な情報源について	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット、書籍、雑誌など情報源の特徴 ・ 図書館の活用法 	瀬戸山陽子
4	文献データベースガイダンス①	<ul style="list-style-type: none"> ・ OPAC と医中誌 Web、最新看護索引 Web のガイダンス 	瀬戸山陽子
5	文献データベースガイダンス②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 回目と同様 	瀬戸山陽子
6	レポートについて①	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートと感想文の違い 	瀬戸山陽子

科目コード【3105】

		<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートを書く目的 ・ 大学生に求められるレポート ・ 著作権、剽窃について 	
7	レポートについて②	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートの形式 ・ 引用文献の示し方 ・ レポートを作成するために必要な基本的な Word ソフトの使い方 ・ e 自主自学に提出する方法 	瀬戸山陽子
8	保健医療の情報源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健医療の専門職として活用したいウェブサイトを ・ 医中誌 Web について（復習） 	瀬戸山陽子
9	保健医療における情報①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健医療情報における「質の高さ」 ・ エビデンスに基づく情報 	瀬戸山陽子
10	保健医療における情報②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の体験：ナラティブ情報 	瀬戸山陽子
11	ヘルスリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスリテラシーの定義 ・ ヘルスリテラシーの重要性 ・ ヘルスリテラシー向上を目指した取り組み 	瀬戸山陽子
12	ヘルスコミュニケーションと意思決定支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスコミュニケーションとは ・ 意思決定支援について ・ 分かりやすい医療情報と、分かりにくい医療情報 	瀬戸山陽子
13	概念の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概念とは何か ・ 看護における「概念化」の重要性 	瀬戸山陽子
14	患者の権利と情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師・患者関係の変化 ・ インフォームドコンセント ・ インフォームドチョイス ・ セカンドオピニオン ・ 個人情報の取り扱い 	瀬戸山陽子
15	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身に着けたリテラシーを振り返り、今後必要になる場面について考える 	瀬戸山陽子
—			

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
健康生活支援論	専門科目	2単位 (15時間)	必修	1年前期	講義
	生活環境と看護の対象				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]阿部 幸恵 [担当教員]天野雅美 伊藤綾子		随時(事前のAppointmentによる)・教員研究室 連絡先：阿部 y-abe@tokyo-med.ac.jp 天野 masami@tokyo-med.ac.jp 伊藤 ayaito@tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	健康や健康障害が人々の生活にどのように影響するのか、あるいは生活の破たんが健康にどのように関連しているのかを考える。その上で、病気や障害だけでなく、病気や障害をもつ人々の生活を支援することの意味について、幅広く深く学ぶ。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 人々を取り巻く環境、健康、生活について考察することができる。 2. 人々を取り巻く環境、健康、生活の関連を理解し、興味・関心をもつことができる。 3. 人々の健康な生活を支援する看護の役割について理解することができる。 4. 自発的に他者と協働しながら学習し、自身や周囲の生活を振り返ることができる。				
教科書	・デジタルナーシンググラフィカ (メディカ出版) 18巻 看護学概論 20巻 基礎看護技術 ・ヴァージニア・ヘンダーソン著・湯槇ます他訳「看護の基本となるもの」再新装版、日本看護協会出版会、2016年				
参考図書	・看護形態機能学 第3版 生活行動からみる身体 (日本看護協会出版会) 他は必要時提示する				

科目コード【3201】

評価方法	定期試験 60% 課題(確認テスト、事前・事後課題)40%
課題に対する フィードバック	授業中および授業後に集団または個別にフィードバックを行う。
事前・事後学習	<p>授業ごとに事前課題を提示しますので、十分に組み込んだ上で授業に臨んでください。</p> <p>授業後には、次の時間の課題に取り組む際に、次の授業とのつながりを考えながら復習と予習を行ってください。</p> <p>「健康生活支援論実習」「健康生活支援論演習」へ繋がるように学習してください。</p>

授業回数	項目	講義内容	担当者
1 2	人々にとっての生活と健康	自分や身近な人々にとって、生活とは、健康とは何かを考える。 健康の概念、QOL、ADL について理解する。	伊藤綾子
3	人々にとっての環境とは	人々の生活と、それを取り巻く環境とは何かを考える。	天野雅美
4 5	「生命を維持する」ということ	人にとって「生命を維持する」とはどのようなことかを考える。 生命を維持する身体のメカニズムについて学ぶ。	阿部幸恵
6 7	「食べる」ということ	人にとって「食べる」とはどのようなことかを考える。 食行動と身体のメカニズムについて学ぶ。 消化・吸収・嚥下とは何かを学ぶ。	天野雅美
8 9	「排泄する」ということ	人にとって「排泄する」とはどのようなことかを考える。 排泄の意義やメカニズムについて学ぶ。	天野雅美
10	「活動する」ということ	人にとって「活動する」とはどのようなことかを考える。	天野雅美

科目コード【3201】

11	「眠る・休息する」ということ	人にとって「眠る・休息する」とはどのようなことかを考える。	天野雅美
12 13	「清潔にする」ということ	人にとって「清潔にする」とはどのようなことかを考える。	天野雅美
14 15	「安全を守る」ということ①	生活する人々にとっての安全とはどのようなことかを考える。	伊藤綾子
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
健康生活支援論実習	専門科目	1単位 (45時間)	必修	1年前期	実習
	生活環境と看護の対象				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]天野雅美 [担当教員]阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸		天野研究室 409 masami@tokyo-med.ac.jp 実習時間終了後・教員研究室および実習場所			
授業のねらい	<p>本科目は、健康生活支援論および看護学概論などで学んだ「健康」や「看護」の概念について、人々が生活する場を通して多様な視点で考えることを目的とする。疾病や障害を持ちながら地域で暮らす人々の話を聞き、生活における行動や環境が健康に及ぼす影響について考える。また、生活の支援を受けている人々に対するケア場面の見学や、支援者とのコミュニケーションを通し、人々の健康を保持・増進・回復するための看護が果たす機能や支援のあり方について考える。生活を支援する場の特徴や体験した学びを学生間で共有し、より幅広い視点で「健康」や「看護」を捉える。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(口にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 健康とは何かについて、自分の言葉で述べることができる。 人々の日常生活行動と健康との関連について理解することができる。 人々を取り巻く環境が健康にどのような影響を与えているか考えることができる。 人々の健康を支える看護の機能について考えることができる。 人々が地域で暮らす上で、生活を支援する施設が果たす役割について理解することができる。 看護学生としての自覚のもとに人々と接することができる。 				

科目コード【3203】

教科書	看護学概論や健康生活支援論で使用したテキストおよび配布資料
参考図書	実習担当教員が提示した資料 看護学概論や健康生活支援論で使用した参考図書
評価方法	実習時間の5分の4以上の出席を以って、単位認定の評価の対象とする。 実習目的および到達目標の達成度（60%）、実習への姿勢・態度（25%）、記録・レポート（15%）で評価を行う。 評価はS、A、B、C、Dの5段階で行い、S、A、B、Cを合格とする。
課題に対するフィードバック	実習中やカンファレンス、実習終了後に集団または個別にフィードバックを行う。
事前・事後学習	【事前学習】事前学習課題シートにそって、「健康」や「疾病・障害」の定義や自分の考えをまとめる。また、実習施設の概要について調べまとめる。 【事後学習】後期の履修科目や、今後の実習に向けての自己の課題について考えをまとめておく。

授業日数	項目	講義内容	担当者
1	実習オリエンテーション	実習目標の確認や実習方法など	天野雅美、阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸
2	臨地実習	各実習施設での実習	天野雅美、阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸
3	臨地実習	各実習施設での実習	天野雅美、阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸
4	臨地実習	各実習施設での実習	天野雅美、阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸
5	実習のまとめ	実習目標の到達度の確認など	天野雅美、阿部幸恵、小野田舞、五十嵐涼子、岩田尚子、黒岩美幸

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護初期実習	専門科目	1単位 (45時間)	必修	1年前期	実習
	生活環境と看護の対象				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]伊藤 綾子 [担当教員]阿部幸恵 清水典子 西村礼子 小檜山敦子 (実働6名、基礎以外に3名)		実習時間終了後・または随時(事前のアポイントによる) 伊藤研究室および実習場所 ayaito@tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	<p>本科目では、療養生活を送る人が自身の疾患や治療をどう受け止め、どのような思いで入院生活を送っているのかということ、患者とのコミュニケーションや患者を取り巻く環境の観察などを通して理解する。また、看護師が実際にケアを提供している場面を見ることで、看護師と患者の関係や患者の生活への支援、多職種との連携等を理解し、看護の機能や役割について学ぶ。さらに、人々の健康の回復を支える医療機関の果たす機能や役割、そこで働く様々な職種の仕事について理解する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(口にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 患者とのコミュニケーションを通して、医療施設で療養生活を送る人の生活や環境がどのようなものか、その人が疾患や治療をどのように受け止め、どのような思いで生活を送っているのかを知ることができる。 看護職者が患者とどのように関わっているか、多職種との連携によって患者の生活をどのように支援しているかについて実際を知り、看護職者の役割と機能について理解を深めることができる。 看護・医療が提供されている場としての医療施設において、病院の機能や特徴、どのような職種の人々が患者の療養生活を支えているのかについて理解することができる。 				
教科書	看護学概論・健康生活支援論で使用するテキスト				

科目コード【3204】

参考図書	必要時に指示する。
評価方法	<p>実習目標と評価表の視点に則って、以下の割合で評価を行う。療養生活とその支援の理解・看護実践の理解（60%）、学習者としての適切な姿勢（25%）、実習レポートと発表会への貢献度（15%）。</p> <p>実習時間の5分の4以上の出席を以って、単位認定の評価の対象とする。</p>
課題に対するフィードバック	実習中及び実習後に集団または個別にフィードバックを行う。
事前・事後学習	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康生活支援論・看護学概論等で学習した内容を復習して実習に臨む。 ・ 臨地実習の手引き・実習要項をよく読み、科目と自身の目標を明らかにして実習に臨む。 <p>【事後学習】</p> <p>実習後に評価表や面談で明らかになった個々の課題について、教科書、参考書、授業資料等を用いて復習し、後期の授業で活用できるようにする。</p>

実習 日数	項 目	講義内容	担当者
1	実習オリエンテーション	臨地実習における学習内容と方法	伊藤 実習担当教員
2	臨地実習	実習施設における実習	実習担当教員
3	臨地実習	実習施設における実習	実習担当教員
4	臨地実習	実習施設における実習	実習担当教員
5	実習のまとめ	実習の振り返り、個別面接、レポート作成	実習担当教員

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
生命科学	一般教育科目	2単位 (15時間)	必修	1年後期	講義
	自然を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 瀬尾直美 [担当教員] 瀬尾直美		授業日の授業時間以降（事前にメールでアポイントを取ってください： n-seo@tokyo-med.ac.jp ）			
授業のねらい	<p>生命科学は、生命現象を遺伝子やタンパク質の分子レベルで捉える生物学を中心とした基本的な面と医学、薬学、農学、工学などの応用的な面とから総合的に研究しようとする科学である。</p> <p>ここでは、生命科学の基礎知識として「生命がどのようにして誕生してきたか」「生命とは何か」「生命はどう発生するのか」「生命の多様性はなぜ必要か」について生物学的観点から学ぶ。さらに、生命科学に基盤を置く科学技術の身近な応用である再生医療、遺伝子組み換え食品についてその全体像を科学的に理解し、それらから派生する社会的問題を考察する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>① 生命の基本となる細胞の構造を説明できる。</p> <p>② 細胞の生理機能を担うタンパク質の設計図である遺伝子とその物質的本体であるDNAやゲノムについて説明できる。</p> <p>③ 遺伝子発現の調節の仕組みを説明できる。</p> <p>④ 遺伝子組み換え技術を説明し、遺伝子組み換え作物の光と影を科学的に考察できる。</p> <p>⑤ 複雑な体が形成される仕組みを説明できる。</p> <p>⑥ 病気の治療に応用されつつある幹細胞の特性を述べ、それらが抱える倫理的問題を考察できる。</p> <p>⑦ 生物多様性の消失による影響を概説し、生物多様性の保全と持続的な利用を行うため何が必要か考察できる。</p>				

科目コード【1101】

教科書	現代生命科学 東京大学生命科学教科書編集委員会編 2015年 羊土社 補足講義資料を配布する。
参考図書	「Essential 細胞生物学 原書第4版」2015年 南江堂 「エッセンシャル キャンベル生物学 原書第4版」2015年 丸善出版
評価方法	定期試験（60%）と2回の課題レポート（40%）で評価する。
課題に対する フィードバック	試験：終了後e自主自学により、フィードバックする。 レポート：評価後、返却する。
事前・事後学習	授業項目について教科書をあらかじめ読み、講義ノートに理解できないこと、疑問点を書き出し、講義後に講義ノートを整理する。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	生命とは何か	生命科学ガイダンス 生物の共通性と細胞の共通性 細胞を構成する分子	瀬尾直美
2	生命がどのようにして誕生してきたか	地質時代と生物の変遷 生物の系統と系統樹 ヒトの起源と進化	瀬尾直美
3	生命はどのように設計されているのか	原核細胞と真核細胞 細胞内小器官：核、小胞輸送系、酸化的代謝系	瀬尾直美
4	生命はどのように設計されているのか	細胞内小器官：独自のDNAを含む細胞内小器官、細胞骨格	瀬尾直美
5	生命はどのように設計されているのか	遺伝情報の伝達：遺伝子と染色体、DNAの発見と二重らせん、正確は遺伝子複製の仕組み	瀬尾直美
6	生命はどのように設計されているのか	現代遺伝学：転写・翻訳、遺伝子とゲノムの概念、ヒトゲノム、真核生物の遺伝子構造の特徴、スプライシングによる遺伝子の多様性	瀬尾直美
7	ゲノム情報はどのように発現するのか	遺伝子発現を調節するもの：生体高分子の相互作用を介した遺伝子転写調節の仕組み エピゲノム：染色体DNAの構造が遺伝子発現調節に関与する、エピゲノムに貢献する化学修飾、エピゲノム情報の維持と初期化	瀬尾直美
8	遺伝子組み換え食品	品種改良：古い歴史をもつ農作物や家畜の選抜、新しいバイオ技術で生まれた遺伝子組み換え生物、ゲノム技術を用いた新しい育種の	瀬尾直美

科目コード【1101】

		可能性	
9	複雑な体はどのようにしてつくられるのか	発生の初期過程：卵割と三胚葉形成 体の基本形の構築：体軸形成、神経誘導、ホメオティック遺伝子 細胞分化と器官形成	瀬尾直美
10	複雑な体はどのようにしてつくられるのか	生殖細胞の形成 ヒトの生殖細胞	瀬尾直美
11	複雑な体はどのようにしてつくられるのか	ヒトの受精・発生 成長と老化：細胞の寿命を決めるテロメアとエピゲノム修飾	瀬尾直美
12	再生医療	細胞分化の全能性・多能性・多分化能と幹細胞、再生医療の方法、ES細胞と宗教	瀬尾直美
13	環境と生物はどのようにかかわるか	環境と適応 恒常性と環境応答 生物と環境の相互作用	瀬尾直美
14	環境と生物はどのようにかかわるか	生態系の構造と動態 生物多様性と地球環境の保全	瀬尾直美
15	まとめ	予め配布する復習課題について双方向で検討する	瀬尾直美
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
生命と地球環境	一般教育科目	1単位 (15時間)	選択	1年後期	講義
	自然を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 大岩潔 [担当教員] 大岩潔、増井大、篠田章		月・火：16:30～18:00・化学教室：増井大 月・火：16:30～18:00・生物学教室：篠田章 月・木：16:30～18:00・物理学教室：大岩潔 e-自主自学のメールで事前にアポイントをとること			
授業のねらい	<p>我々人類にとって、環境保全や環境問題は、もはや知らないでは済まされない重要な問題となった。過去から現在まで地球環境の変化に対して生命がどのように順応してきたかを学習する。地球規模の問題の例として、気候の温暖化、放射性物質の汚染、砂漠化の拡大、酸性雨問題、生物多様性の減少などを学習し、その発生のメカニズムや自然環境、社会に及ぼす影響、それに対する国際社会の取り組みなど、現在我々が直面している種々の問題について化学、生物学、物理学の観点から考える。(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(化学：増井大/3回) 人間と地球環境の関わりを、地球温暖化、酸性雨、オゾンホールなどのテーマを用いて化学の視点から理解する。</p> <p>(生物学：篠田章/3回) 人間が生きる地球表層環境について、その構成と動態を生態系の観点から理解する。現在、生物多様性の減少が危機的状況にあることを認識し、地球に生きる一員として必要な対応を学習する。</p> <p>(物理学：大岩潔/2回) 我々が暮らしている地球の成り立ちと、「地球環境」の性質を物理学的な見地から学習する。最近社会的関心が強くなった、「放射線」について学習することによって、その利用と害について理解し、放射線の被曝を避けるための方法を学習する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念的化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、他職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 地球環境の成り立ちについて説明できる。 地球環境における物質循環やエネルギー収支について説明できる。 地球環境に及ぼす人為活動とその影響を考察できる。 生物圏の生物要因と非生物要因を概説し、それらの相互作用を説明できる。 生物における個体群動態と種間・種内作用を概説できる。 生物多様性を保全する意義について説明できる。 生命に影響を与える人為的影響としての内部被曝および外部被曝について、その違いと危険性について説明できる。 				
教科書	講義資料を配付する。(増井大・篠田章・大岩潔)				
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 「医療系のための物理」第2版 佐藤幸一・藤代敏幸著、2013(東京教学社) 「気象と地球の環境科学」改訂3版、二宮洗三 2012(オーム社) 「エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版」シモン他著 池内昌彦他監訳、2016(丸善出版) 				
評価方法	定期試験(80%)、受講態度(20%)				
課題に対する フィードバック	試験終了後、e自主自学により問題別にフィードバックいたします。				

科目コード【1102】

事前・事後学習	参考図書「医療系のための物理」第4章「熱と体温」、第7章「原子と放射線」 参考図書「気象と地球の環境科学」、10章「オゾン層とオゾン破壊」、11章「地球温暖化問題」、9章「酸性雨と環境問題」 参考図書「エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版」第4部「生態学」 ※学習方法については、必要に応じて指示する。
----------------	---

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	宇宙と地球の環境	1. 宇宙の誕生と太陽系と地球の成り立ち 2. 地球環境における「熱」	大岩 潔
2	太陽と大気分子	1. 大気構造とオゾン層 2. オゾンと紫外線、オゾンホール	増井 大
3	炭素循環と熱収支	1. 地球の熱収支と温暖化メカニズム 2. 炭素循環と温室効果ガス	増井 大
4	大気汚染と酸性雨	1. NO _x , SO _x , オキシダントの発生 2. 酸性雨のメカニズムと pH	増井 大
5	生態系の構成	1. 環境と生物 2. 生態系	篠田 章
6	生物の集団	1. 個体群動態 2. 相互作用 3. ヒトの個体群成長	篠田 章
7	生物多様性	1. 絶滅危惧種 2. 生態系サービス 3. 保全	篠田 章
8	放射線と被曝	1. 放射線の種類と生体への影響 2. 外部被曝と内部被曝の違いと危険性	大岩 潔
—	定期試験		

科目コード【1105】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
医療のための物理学	一般教育科目	1単位 (30時間)	選択	1年後期	演習
	自然を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
大岩 潔		月・木：16:30～18:00・物理学教室 e-自主自学のメールで事前にアポイントをとること			
授業のねらい	物理学は古くから医学・医療に貢献してきた。細菌検査のための光学顕微鏡や電子顕微鏡、診断・治療における放射線の応用など、その功績は広範囲にわたる。看護技術のより効果的な活用や、最新の医療機器を適切に取り扱うためにも基本原理の理解が重要である。医療に必要な物理学の基礎を学習し、種々の基本原理の理解を目標とする。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念的化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、他職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 力と運動の関係を説明できる。 2. 温度と熱について説明できる。 3. 波の基本的性質と音と光の特性について説明できる。 4. 電気と磁気の現象について説明できる。 5. 原子の構造と放射線の利用について説明できる。				
教科書	「医療系のための物理」第2版 佐藤幸一・藤城俊幸著、2013、(東京教学社) 随時配布する演習問題、プリントなど				
参考図書	「医歯系の物理学」第2版 赤野松太郎 他著、2015、(東京教学社) 「物理の基礎」、長岡洋介著、2000、(東京教学社)				
評価方法	演習 (70%)、受講態度・出席 (30%)				
課題に対する フィードバック	試験終了後、e-自主自学により課題別にフィードバックいたします。				
事前・事後学習	別途配布する演習問題を事前によく読んでおくこと。 演習後 e-自主自学で公開する解答例を見直しておくこと。				

科目コード【1105】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	物理学入門	1. 物理量 2. 単位系	大岩 潔
2	物理の数学	1. 三角関数 2. 微分積分学	大岩 潔
3	力とはなにか	1. 「力」とは何か 2. ベクトル	大岩 潔
4	運動とその表し方	1. 運動の表し方 2. 運動量とエネルギー	大岩 潔
5	運動と力	1. 運動と力 2. 運動方程式	大岩 潔
6	圧力と流体	1. 流体 2. 圧力	大岩 潔
7	人体における流体	1. 流れる流体 2. 血流	大岩 潔
8	熱と温度	1. 熱とは何か 2. 温度とは何か	大岩 潔
9	体温とその測定	1. 熱の伝導 2. 体温の測定	大岩 潔
10	波動と音	1. 波動の基本的な性質 2. 音の性質	大岩 潔
11	光の波動性と粒子性	1. 光の性質 2. レーザー	大岩 潔
12	電気と磁気	1. 電気 2. 磁気	大岩 潔
13	生体と電気	1. 生体における電氣的現象 2. 医療用電気機器	大岩 潔
14	原子の世界	1. 原子の構造 2. 原子核と素粒子	大岩 潔
15	放射線、X線とその利用	1. α 線、 β 線、 γ 線、X線 2. 放射線の利用	大岩 潔
—	定期試験は実施しない		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
哲学	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年後期	講義
	人を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] [担当教員] 西 研		哲学教室 火曜5時限			
授業のねらい	<p>この講義は、それぞれの参加者が「自己」の理解と「他者」の理解を、さらには人間一般の理解を、自分ごととして進めてもらうことを企図している。そのため、少人数によるワークショップ（話し合い）をほぼ毎回行う。具体的には以下の2点となる。</p> <p>1. 人間の体験世界の基本構図を把握するために、自然科学とは異った、哲学（現象学）特有の方法が生み出されてきたことを理解し、この方法を実習のなかで体得する。</p> <p>2. これまでの哲学者が構築してきた「体験世界の理論」の骨子を理解し、そこから各人が自己を捉え直し、かつ支援（ケア）につなげていく。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1. 内省と対話による本質観取の方法によって、人間的な意味世界の共通本質をみずから言葉にして表現することができる。</p> <p>2. 体験世界の特質を、生の可能性、物語、エロス的世界とゲーム的世界、などの術語によって概説できる。</p>				
教科書	プリントを配付				
参考図書	小林隆児・西研編『人間科学におけるエヴィデンスとは何か』新曜社 西研『哲学の練習問題』河出文庫（アマゾンなどで購入可）				
評価方法	毎回のコメントカード（10%）、グループでの話し合い（20%）、小テスト（20%）レポート（50%）とする。				

科目コード【1205】

課題に対する フィードバック	グループの話し合いの結果についてはそのつど評価を返す。レポートは、希望者にはコメントを返す。
事前・事後学習	参加者は毎回、コメントカードにふり返りを書き込む。また、予習のためのプリントを課されることもある。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	ガイダンス	哲学とは何か・なぜ看護学生が哲学を？	西 研
2	体験世界と生の可能性①	看護職の価値を考える	西 研
3	体験世界と生の可能性②	看護職以外の生の可能性は？	西 研
4	体験世界と生の可能性③	エロスの関係とゲーム的關係	西 研
5	体験世界と言葉	言葉の働き、文字の働き	西 研
6	病気と物語	病 (illness) と疾病 (disease)	西 研
7	死を知る存在としての人間	死の恐怖とは何か、死の自覚と労働	西 研
8	小テスト／現象学の方法	現象学的還元と本質観取	西 研
9	感情の本質を考える①	なつかしさの本質	西 研
10	感情の本質を考える②	なつかしさの本質のまとめ／嫉妬の本質	西 研
11	感情の本質を考える③	嫉妬の本質のまとめ／方法について確認	西 研
12	人間論から支援論へ①	体験世界を発達からみる	西 研
13	人間論から支援論へ②	支援の現場から	西 研
14	人間論から支援論へ③	支援にとって必要なこと	西 研
15	哲学のまとめ	プラトンから現象学	西 研
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
スポーツ実技	一般教育科目	1単位 (24時間)	選択	1年後期	実技
	人を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
小林 亮太		講義終了後・非常勤講師控室			
授業のねらい	<p>授業の概要：屋外屋内を問わず、フットサルやバドミントン、アルティメットなど多くの種目を行います。種目変更は3週毎に行います。男女共修で実施します。授業前半はルール説明および基礎技術の練習を行い、後半はゲームを行います。授業の教育目標：健康の維持増進は個人のQOL（生活の質）向上を図る上での基盤となります。大学生においては、大学生活が始まることにより生活様式が大きく変化することが予想され、自分自身の健康を自己管理する能力の涵養が求められます。</p> <p>将来医療従事者となる学生には、他者の健康を管理する能力を獲得することも求められると考えます。そこで、本授業の教育目標は以下に記すとおりとします。</p> <p>(1) 運動・スポーツ活動の継続が健康の維持増進に有益であることを踏まえ、様々なスポーツを行う中で、継続可能な種目および運動・スポーツ活動の継続を可能とする要因を探らせることです。</p> <p>(2) 自分自身の健康状態はもちろん、他者のそれにも関心を配る態度を養わすことです。</p> <p>(3) 多くの学友を見つけ、良好な人間関係を構築することです。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(□にチェックする)	<p><input type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>授業の到達目標は以下のとおりとします。</p> <p>(1) 知識・理解の観点：各スポーツ種目のルールと教育目標を理解する。</p> <p>(2) 思考・判断の観点：各スポーツ種目における周辺環境や動作の特徴を理解し、プレー中の空間認識能力や集団的位置認識能力、潜在する傷害発生の</p>				

	<p>要因を思考および判断する。</p> <p>(3) 意欲・関心の観点：経験の有無に関係なく本講義で取り扱うスポーツ種目に対して関心を持ち、そのスポーツ種目の技術・戦術・実践の修得に意欲的に取り組み、パフォーマンスの向上、チームの勝利に寄与する。</p> <p>(4) 態度の観点：講義開始時および終了時の挨拶、教員に対する常識ある言葉使いや態度、他の学生との協調(コミュニケーション)を主眼とし、積極的に授業へ参加できる。</p>
教科書	特になし
参考図書	必要に応じてプリントを配付します。
評価方法	<p>(1) 知識・理解の観点 (30%)：レポート課題。</p> <p>(2) 思考・判断の観点 (10%)：種目に対する授業内のふるまいと安全への配慮。</p> <p>(3) 関心・意欲の観点 (40%)：授業への参加度。授業内でのゲームの勝敗。</p> <p>(4) 態度の観点 (20%)：授業への参加態度と教員・他学生への配慮の程度。</p> <p>以上の方法による総合評価とします。</p>
課題に対するフィードバック	レポートの提出課題に対し、講評をあわせてフィードバックします。
事前・事後学習	<p>(1) 授業に関する事項</p> <p>授業には運動・スポーツ活動に適した服装での参加が求められます。不適切な服装で参加は欠席扱いとします。不適切な服装の具体例としては、以下のようなものです。</p> <p>① 他者との接触時に巻き込まれかねない、また用具使用がスムーズに行えないと判断される上着衣、およびジーンズ・カーゴパンツなどスポーツ用ではない下着衣です。</p> <p>② 時計・ピアス・リング・ネックレス・アンクレットなどのアクセサリ。</p> <p>③ スポーツ用でない靴、および屋内（屋外）活動時における屋外（屋内）用シューズの使用です。</p> <p>④ 長髪の場合はできる限りまとめるようにしてください。</p> <p>⑤ 授業で行う種目は天気や設備によって随時変更します。</p> <p>(2) 授業を行う場所は種目によって随時変更し、ガイダンスで説明します。</p> <p>(3) 評価に関して不明な点がある場合は、オフィスアワー等を活用して質問してください。</p>

科目コード【1206】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	ガイダンス	授業ガイダンス	小林 亮太
2	アルティメット	スキル練習とゲーム	小林 亮太
3	アルティメット	スキル練習とゲーム	小林 亮太
4	アルティメット	スキル練習とゲーム	小林 亮太
5	アルティメット	スキル練習とゲーム	小林 亮太
6	アルティメット	スキル練習とゲーム	小林 亮太
7	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
8	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
9	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
10	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
11	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
12	フットサル	スキル練習とゲーム	小林 亮太
13	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太
14	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太
15	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太
16	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太
17	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太

科目コード【1206】

授業回数	項目	講義内容	担当者
18	バスケットボール	スキル練習とゲーム	小林 亮太
19	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
20	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
21	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
22	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
23	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
24	バドミントン	スキル練習とゲーム	小林 亮太
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
家族と社会	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年後期	講義
	社会を知る				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] [担当教員] 小澤かおる		講義終了後・非常勤講師室で受け付ける。コメントペーパー またはメールによる質問も受け付ける。 メールアドレスは授業中に伝達する。			
授業のねらい	現代の家族は多様化している。この授業では、近代家族の成立と変遷を概観し、今日の社会で見られる家族を鍵としたさまざまな現象について考えることで、いわゆる「標準世帯」中心の家族観と今日の家族のありかたのずれや、今後の家族像について検討する。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 近代家族の成立・変遷過程とそれを考えるための概念を習得する。 2. 社会にさまざまなかたちの家族がいることを確認する。 3. 地域や職場で各自が会おうさまざまな家族について偏見なしに自分で考えられるようになる。 4. 自分で本を読み自分の意見を文章にまとめ、日常生活に生かせるようになる。				
教科書	『問いからはじめる家族社会学——多様化する家族の包摂に向けて』岩間暁子・大和礼子・田間泰子著、2015（有斐閣） 必要に応じてプリントを配布することがある。				
参考図書	『家族を超える社会学：新たな生の基盤を求めて』牟田和恵編、2009（新曜社） 『LGBT サポートブック：学校・病院で必ず役立つ』はたさちこ・藤井ひろみ・桂木祥子、2016（保育社）				
評価方法	コメントペーパー40%、小レポート 20%、期末レポート 40%				
課題に対する フィードバック	コメントペーパー、小レポートについては、授業中でリプライすることがある。				

科目コード【1301】

事前・事後学習	<p>1. 教科書の、これから学ぶ箇所を授業前に読んでおくこと。</p> <p>2. 授業終了後、授業で学んだ箇所の教科書を再読し、プリントやノートに目を通すこと。</p>
----------------	--

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	オリエンテーション 家族を読み解くために1	授業の進め方についての説明。 家族の多様化の現状のトピックをみる。	小澤かおる
2	家族を読み解くために2	近代社会を理解するのに必要なジェンダーの概念を学ぶ。今後の授業内容を概観する。	小澤かおる
3	近代家族の成立	家族が歴史的・地域的に変化することを知る。 近代、現代と家族の関わりを考察する。	小澤かおる
4	家族・貧困・福祉1	貧困についての考え方を知る。 家族と貧困の関係について知る。	小澤かおる
5	家族・貧困・福祉2	福祉レジーム類型について学び、日本の現状を考える。社会的包摂について知る。	小澤かおる
6	結婚	戦前のイエ制度と今日の婚姻、未婚化、離婚、パートナーシップの多様化について知る。	小澤かおる
7	就業と家族1	労働における男女格差、女性労働者の二極化について知る。	小澤かおる
8	就業と家族2	私的領域と性別役割分業について知る。 非典型家族の困難について知る。	小澤かおる
9	妊娠・出産・子育て1	少子化と戦後日本の家族について知る。	小澤かおる
10	妊娠・出産・子育て2	なぜ子をもつのか考える。親とは、子とは何か考える。	小澤かおる
11	親―成人子関係のゆくえ1	親―成人子関係の理論的枠組みを知る。	小澤かおる
12	親―成人子関係のゆくえ2	親―成人子関係と、社会環境の変化について知り、少子高齢化について考える。	小澤かおる
13	個人・家族・親密性のゆくえ1	公共圏と親密圏について知る。エスニック・マイノリティと家族の問題を知る。	小澤かおる
14	個人・家族・親密性のゆくえ2	性的少数者（LGBT）と家族について知る。多様な家族の社会的包摂について考える。	小澤かおる
15	まとめ	これから出会うであろうさまざまな家族について考える。	小澤かおる
—	定期試験として第15回に期末レポートを提出する。		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
探求の技法	一般教育科目	1単位 (30時間)	必修	1年後期	演習
	問題解決				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
大久保 豪		講義の前後 またはeメール (sokubo@bms-yokohama.co.jp) へ			
授業のねらい	看護の実践においては、様々な状況で複雑な問題の解決を行わなければならない。そのため、状況を把握して、問題が何かを明らかにする思考力、判断力と、思考し判断したことを適切に表現する力を養うことが必要である。「探求の技法」では、看護の現象に潜む問題を明らかにする方法として、現象から問題を抽出する帰納的思考、既存の知識や理論から別の知識を論理的に推論して導き出す演繹的思考について学ぶ。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 科学的な探求の流れを理解し、説明できるようになる。 2. 探求過程の思考を他者に伝えることができるようになる。 3. 量的データから演繹的に考えること、質的データから帰納的に考えることの意味を理解し、実践できるようになる。 4. 主観的経験を理解することの意義と限界について理解することができる。				
教科書	指定なし				
参考図書	演習の中で随時示す				
評価方法	レポート 50% 演習への参加度合い(ディスカッションへ積極的に参加しているか、講師の示した課題に取り組んでいるか) 50%				
課題に対するフィードバック	演習の中で、グループ・個人の課題に対するフィードバックを行う。				
事前・事後学習	事前学習:指定する内容を実施した上で講義に臨むこと。内容は演習の中で示す。 事後学習:演習中に示されたポイントをメモし、復習してから次回に臨むこと。				

科目コード【1403】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	序説	1. 演習の進め方に関して説明する。 2. 演繹的思考と帰納的思考について学ぶ。	大久保 豪
2	探求のための資料の調査 (その1)	インターネットで調べることの利点と欠点について考える。	大久保 豪
3	探求のための資料の調査 (その2)	学術雑誌の論文の意義 利点と欠点について考える。	大久保 豪
4	探求のための資料の調査 (その3)	引用の方法、意義について考える。	大久保 豪
5	主観的経験の質的把握 (その1)	インタビュー調査が行われる事例、インタビューにおける関係性について考える。	大久保 豪
6	主観的経験の質的把握 (その2)	語りを分析する視点について考える（人はいつ間違いや偽りを話すのか）	大久保 豪
7	主観的経験の質的把握 (その3)	インタビューにおける質問のあり方について考える。インタビューガイドの作成。	大久保 豪
8	主観的経験の質的把握 (その4)	インタビューガイドの作成、推敲。	大久保 豪
9	主観的経験の質的把握 (その5)	インタビューの実施とその評価。	大久保 豪
10	主観的経験の量的把握 (その1)	Quality of Life (QOL) を測る方法、測定の意義について考える。	大久保 豪
11	主観的経験の量的把握 (その2)	実際に QOL 尺度に回答して、改善点を考える。	大久保 豪
12	主観的経験の量的把握 (その3)	実際に QOL 尺度に回答して、改善点を考える。	大久保 豪
13	主観的経験の量的把握 (その4)	QOL 尺度を作ってみる。	大久保 豪
14	主観的経験の量的把握 (その5)	QOL 尺度を作ってみる。	大久保 豪
15	演習のまとめ	演習で学んだことを体系的に位置づけて理解する。	大久保 豪
—	レポート なお、演習の内容は学生の理解や進捗状況をみながら適宜変更する		

科目コード【1404】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
情報技術と コミュニケーション	一般教育科目	1単位 (30時間)	選択	1年後期	演習
	問題解決				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 荻谷 光晴 [担当教員] 荻谷 光晴		講義前後・非常勤講師室			
授業のねらい	電子メールやMicrosoft OfficeのWord機能、Excel表計算やプレゼンテーション資料の作成、インターネットの活用等、情報技術に関する基本的な技術を修得することを目的とした科目。さらに、インターネットを利用したコミュニケーションや情報収集にまつわる昨今の問題や課題について倫理点観点から考察し、コンピュータ技術の適切な活用について実践を通して学ぶ。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. Microsoft OfficeやPC操作、インターネットの基本操作を修得できる。 2. レポート作成の技術、エクセルでの複雑な処理や計算、パワーポイントの応用技術を修得し、よりよい文章やスライド資料の作成が可能となる。				
教科書	なし				
参考図書	必要な場合は、講義中に提示する。				
評価方法	課題レポート (80%)、毎回の授業における演習問題 (20%)				
課題に対する フィードバック	演習問題の解説は授業内で行い、次週までに添削して質問等の返答を行う。 課題レポートについては、次週以降に添削結果を開示する。				
事前・事後学習	事前学習：講義内容について、わからない操作や知識を明確にして受講すること。 事後学習：講義で学んだ内容について、反復練習を行い技術の修得に励むこと。				

科目コード【1404】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	講義概要 タイピング練習	講義概要について タイピング練習	荻谷 光晴
2	電子メールの操作と演習 インターネット	電子メールやインターネットの操作演習 便利な機能とその操作	荻谷 光晴
3	Word の操作方法 (1)	パーソナルコンピュータの基本操作	荻谷 光晴
4	Word の操作方法 (2)	テキスト入力等の基本操作演習	荻谷 光晴
5	Word の応用 (1)	学術的な文章作成	荻谷 光晴
6	Word の応用 (2)	Word の総合演習 2	荻谷 光晴
7	Excel の操作方法 (1)	データ入力と編集等の基本操作演習	荻谷 光晴
8	Excel の操作方法 (2)	グラフの作成と装飾	荻谷 光晴
9	Excel の応用 (1)	数式や関数を用いた表の作成	荻谷 光晴
10	Excel の応用 (2)	Excel の総合演習	荻谷 光晴
11	PowerPoint の操作方法 (1)	基本操作と文章作成	荻谷 光晴
12	PowerPoint の操作方法 (2)	オブジェクトの作成と操作 アニメーション設定	荻谷 光晴
13	PowerPoint の応用 (1)	PowerPoint と Excel の連携	荻谷 光晴
14	PowerPoint の応用 (2)	PowerPoint の作成と発表のノウハウ	荻谷 光晴
15	総合演習	総合演習	荻谷 光晴
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
プレゼンテーションの技法	一般教育科目	1単位 (30時間)	選択	1年後期	演習
	問題解決				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 医学教育学分野 泉美貴教授 [担当教員] 医学教育学分野 R. ブルーヘルマンズ准教授、 医学教育学分野 山崎由花講師		火曜日 8:00～13:00 (この時間以外はアポを取って下さい) 大学病院 教育研究棟 (自主自学館) 3階 医学教育学分野 R. ブルーヘルマンズ IP 電話: 62944、e メール: rpb@tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	医療系発表会などにおいて、聴衆に伝えたいメッセージを確実に伝えるためのパワーポイントスライドを作成し、それを利用して効果的にプレゼンテーションする方法を教授する。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (口にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 効果的なプレゼンテーションについて理解できる 2. 資料や図表を引用する際の権利保護や著作権について理解できる 3. プレゼンテーションソフトを用いてスライドや資料を作成し、発表できる				
教科書	よくわかる Microsoft PowerPoint2013 基礎、FOM 出版				
参考図書	「あなたのプレゼン誰も聞いていませんよ！」 渡部欣忍著、2014 (南江堂) 適宜授業中に提示する。				
評価方法	受講態度・ワークへの参加度 (30%) プレゼンテーションの発表および成果物の提出 (60%) e ラーニングを用いた小テスト・課題提出 (10%)				
課題に対する フィードバック	フィードバックを e 自主自学に掲載する。				
事前・事後学習	事前学習：パソコンの基本的な操作方法を習得しておく。 事後学習：自分で関心のあるテーマをリサーチし、さまざまなシチュエーションに応じたプレゼンテーションを自作してみる。				

科目コード【1405】

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際①	教科書第1章 PowerPointの基礎知識	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
2	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際②	教科書第2章 基本的なプレゼンテーションの作成	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
3	効果的なプレゼンテーションと文章作成方法	効果的なプレゼンテーションの概説 文章作成方法の解説	泉 美貴
4	引用の際の権利保護と著作権	資料を引用する際の権利保護と著作権の概説	泉 美貴
5	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際③	教科書第3章 表の作成	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
6	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際④	教科書第4章 グラフの作成	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
7	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際⑤	教科書第5章 図形の作成、SmartArt グラフィックの作成	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
8	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際⑥	教科書第6章 画像の挿入、ワードアートの挿入	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
9	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際⑦	教科書第7章 特殊効果の設定	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
10	プレゼンテーションソフトの使用方法の実際⑧	教科書第8章 プレゼンテーションをサポートする機能	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
11	プレゼンテーション発表準備	スライド・資料の作成	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
12	プレゼンテーション発表準備	スライド・資料の作成 試作したスライド・資料のピアレビュー	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
13	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション発表会を開催する	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
14	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション発表会を開催する	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
15	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション発表会を開催する	R. ブルーヘルマンズ 山崎 由花
—			

科目コード【1507】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
フランス語	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年後期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 平井 康和 [担当教員] 平井 康和		木曜日 12:45~13:00, 14:40~15:00. 講師室			
授業のねらい	国内外の状況の変化により、日常生活における外国語によるコミュニケーションの重要性を理解する。更にフランス語を身につけ、異文化を具体的に学ぶ。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 初歩的日常生活ができる。 2. 正確な発音ができる。 3. フランス語の基本的な仕組みが分かる。 4. フランス文化の理解を深める。				
教科書	藤田裕二著 『新・彼女は食いしん坊!』 朝日出版社				
参考図書	事業中に提示する。				
評価方法	最終試験 (70%) 授業への参加度 (20%) 小テスト (10%)				
課題に対する フィードバック	問題別にフィードバックする。				

科目コード【1507】

事前・事後学習	Web上で、ディアログと文法を予習し、練習問題で学習内容を確認する。
----------------	------------------------------------

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	フランス語とフランス文化に親しむ	Alphabet とフランス語の音 自分の名前を言う	平井
2	単語の発音	綴り字と発音の規則を覚える 挨拶をする	平井
3	パリ到着—タクシーに乗る	主語人称代名詞 être の活用を覚える 行き先を告げる	平井
4	パリの人々 ユーロ	数詞（1～20）を覚える 国籍・職業を言う ディクテーション（小テスト）	平井
5	ホテルで 名詞と冠詞	Avoir の活用を覚える 複数形を聴き取る	平井
6	予約してあります Avoir の成句を覚える	痛いところを言う 形容詞の女性形・複数形	平井
7	ホテルの部屋 提示の表現	指示代名詞を使う 「それはジュリアンの携帯電話です。」	平井
8	ランデヴー エリズィオン・リエゾンに慣れる	第1群規則動詞の語尾変化を覚える 「東京に住んでいます。それで、あなたは。」	平井
9	家族 所有形容詞	兄弟について話す 所有者の人称と数、および所有される名詞の性・数を理解する	平井
10	ヴォージェ広場 疑問文	形式主語のある文：il y a ～ ディクテーション（小テスト）	平井
11	カフェで 品質形容詞	形容詞の位置 形容詞・名詞の女性形、複数形（まとめ）	平井
12	ジュリアンと彼の写真 直接目的語	否定文 動詞 Prendre の活用と用法	平井
13	電話をかける 指示形容詞	買い物をする 動詞 Aller, Venir の活用を覚える	平井
14	人称代名詞強勢形 前置詞 à / de	近い未来、近い過去 ディクテーション（確認とまとめ）	平井
15	蚤の市で	定冠詞の縮約 最終試験	平井
—	定期試験はしません		

科目コード【1508】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
ドイツ語	一般教育科目	2単位 (15時間)	選択	1年後期	講義
	グローバル コミュニケーション				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
西脇 麻衣子		授業後ないしは木曜日 16時20分～17時 医学科ドイツ語教室(第3校舎3階)			
授業のねらい	ドイツ語の初歩を半年で学びます。初級文法の習得を中心に、ドイツ語圏の文化にも触れていきます。ドイツ語という言語を通じて、英語とも日本語とも異なる発想や論理を知り、豊かな思考力を養うことをめざします。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. ドイツ語の発音の原則を理解し、正しい発音ができる。 2. 辞書を用いて平易なドイツ語の文章を読むことができる。 3. ドイツ語で簡単な会話ができる。 4. ドイツ語圏の文化に対し積極的な関心をもつことができる。				
教科書	『ドイツ語の時間 <恋するベルリン> Web改定版 エピローグ付 (Meine Deutschstunde Auf geht's nach Berlin! und danach)』清野智昭 著、朝日出版社、2017年				
参考図書	辞書：初回の授業で紹介する。 その他の参考図書：必要に応じて紹介する。				
評価方法	小テスト（授業時間内に数回行う）、あるいは定期試験：70% 授業への参加度：30%				
課題に対する フィードバック	練習問題を課した場合は、次回の授業で答え合わせを行います。 小テストは採点し、次回の授業で返却・復習します。				

科目コード【1508】

事前・事後学習	<p>教科書に目を通してから授業に臨んでください。</p> <p>Webの専用ページで視聴できる音声を利用し、教科書のダイアログや例文の発音練習を心がけてください。</p>
----------------	--

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	ドイツ語とドイツ語圏	ドイツ語圏について ドイツ語のアルファベット、発音	西脇 麻衣子
2	第1課「ベルリンに到着！」	動詞の現在人称変化(規則変化) 動詞の位置	西脇 麻衣子
3	第1課「ベルリンに到着！」(続)	sein と haben 動詞の変化 数字	西脇 麻衣子
4	第2課「パン屋さんで」	名詞の性 名詞の格変化(1格・4格)	西脇 麻衣子
5	第2課「パン屋さんで」(続)	名詞の格変化(1格・4格)(続) werden 動詞の変化	西脇 麻衣子
6	第3課「語学コース」	動詞の現在人称変化(不規則変化) 名詞の複数形	西脇 麻衣子
7	第3課「語学コース」(続)	名詞の格変化(3格)	西脇 麻衣子
8	第4課「学生食堂で」	前置詞と名詞の格	西脇 麻衣子
9	第4課「学生食堂で」(続)	副文	西脇 麻衣子
10	第5課「お医者さん」	人称代名詞(3格・4格) 再帰代名詞・再帰動詞	西脇 麻衣子
11	第5課「お医者さん」(続)	名詞の格変化(2格)	西脇 麻衣子
12	第6課「学生寮で」	定冠詞類	西脇 麻衣子
13	第6課「学生寮で」(続)	不定冠詞類 否定冠詞 kein	西脇 麻衣子
14	第7課「ヴァンゼーへ！」	zu 不定詞句	西脇 麻衣子
15	第7課「ヴァンゼーへ！」(続) まとめ・演習	分離動詞 医療関係の平易なテキストを読む	西脇 麻衣子
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
医療概論	専門基礎科目	1単位 (15時間)	必修	1年後期	講義
	保健医療福祉のしくみ				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]倉田誠 [担当教員]岩本俊彦、菊池宏幸、中島理暁、山科章		岩本：開講期間中 tiwamoto@iuhw.ac.jp にて対応 倉田：水曜 13:00～14:30、金曜 15:00～17:00 第三校舎 2階 生命倫理学研究室(倉田研究室) 山科：講義終了後 中島：メールで問い合わせてください。 hist-med:tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	看護学を学び、質の高い看護の実践能力を身につけるためには、あるべき医療の姿を正しく捉えることが必要である。最近の医療を取り巻く環境は刻々と変化しており、医療の考え方や仕組みも大きく変わりつつある。現在、そして将来の医療はどうあるべきか、どんな課題があるのかについて、最近の医療の動向を踏まえ、データや資料を基に考えてみる。また、看護者は医療に従事する専門職として、医学の本質は何かということを理解する必要がある。医学の進歩の歴史、医学が人間の生命や尊厳をどう捉えているか、病気の診断、治療、予防、健康の増進、生活の質といったことを医学はどう具現化しているのかなど、医学の体系を理解し、医学のあるべき姿について考えてみる。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 医学の発展の歴史、医学が人々や社会に対して果たす役割や課題を理解し、医学の本質とは何かについて考えることができる。 2. 医療のしくみを理解し、あるべき医療の姿を考えることができる。				
教科書	系統看護学講座「医学概論」、医学書院				

参考図書	
評価方法	定期試験 100%
課題に対する フィードバック	(倉田)各担当教員の方針にしたがい、必要に応じて「e 自主自学」等を通して行う。 (中島)次回講義時に講評を行う。
事前・事後学習	(岩本)教科書で予習し、レジュメに各講義の内容を書きとめながら理解を深め、学習内容や自身が考えたことを整理していくことが望ましい。 (倉田)ノートを作成し、各講義の内容を書きとめながら、相互の関連性をよく考えて学習内容や自身が考えたことを整理していくことが望ましい。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	医学とは何か	医学の定義と医療 人間の生命と医の倫理・生命倫理 クオリティ・オブ・ライフ 病気と医学	倉田 誠
2	医学の発達の歴史	生命科学の思想的・社会的成立条件 歴史の中の医学と看護	中島 理暁
3	医学の発達の歴史	医療者—患者関係の社会的変容 先端医療への歴史的眼差し	中島 理暁
4	健康・病気と医学の体系	健康の定義と健康教育の必要性 病気の分類 医学の体系と医療の目標 基礎医学・臨床医学・予防医学の理解	岩本 俊彦
5	病気の治療とリハビリテーション	病気の治療法の種類と考え方 リハビリテーション医学とは何か	岩本 俊彦
6	病気の予防	予防医学と公衆衛生 健診の意義・生活習慣病のリスク要因 ヘルスプロモーション	菊池 宏幸
7	病気の原因と診断	病気の診断、検査の感度・特異度、仮説演繹法、臨床推論	山科 章
8	医療システムと医療の課題	日本の医療制度、診療報酬、医療費の動向、平均寿命と健康寿命、厚生行政の方向	山科 章
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
社会保障制度論	専門基礎科目	1単位 (15時間)	必修	1年後期	講義
	保健医療福祉のしくみ				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]森山幹夫 [担当教員]森山幹夫		原則 火曜・水曜日 9:00～10:00 場所 森山研究室503 moriyamamikio@yahoo.co.jp			
授業のねらい	<p>私たちの生活を守る社会保障制度の意義、目的及び機能について、歴史の変遷を理解しながら、現在の社会保障制度の基本的な仕組みを理解し、社会保障の中で看護がどのような役割を果たすかを学修する。さらに日本の社会保障制度が直面する少子高齢化などの諸課題と将来の方向性についても理解を深める。</p> <p>制度の重要性と支える者としてコンプライアンス概念を理解し、看護の視点で何故このような制度になっているのか、問題点は何か、どのように解決するのかという思考法も修得する。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (口にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1 社会保障制度の意義と目的、内容と仕組み等を述べることができる。</p> <p>2 社会保障制度における看護の役割を説明することができる。</p> <p>3 コンプライアンスを身に付けそれに基づく思考ができる。</p>				
教科書	<p>1. 系統看護学講座 看護関係法令第49版 2017年 医学書院</p> <p>2. 適宜資料を配布する。</p>				
参考図書	<p>1. iPadに収録されているナーシンググラフィカ該当箇所</p> <p>2. 初めての社会保障 2016年 有斐閣</p>				
評価方法	<p>毎回のミニレポートの内容による理解度と受講態度 50%</p> <p>定期試験 50%</p>				
課題に対する フィードバック	<p>1. 毎回のミニレポート等はチェックして次回に返却する。</p> <p>2. 試験問題は持ち帰り、模範解答は公開するので自己再確認すること。</p>				

科目コード【2203】

事前・事後学習	<p>事前学習：教科書の該当箇所は必ず読んでから受講すること。</p> <p>事後学習：講義で学んだ内容をノートに整理し、自分の考えをまとめること。ミニレポートは毎授業終了後に提出することを課す。</p> <p>事後学習には30分以上の時間を充てること。</p>
----------------	---

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	社会保障の意義及び目的	社会保障とは何か、私たちの生活を支える仕組みの基本について理解	森山幹夫
2	社会保障とコンプライアンス	社会の成り立ちは一人一人が責任を果たすことである。国家と国民の責任を理解しコンプライアンスを身に付ける。	森山幹夫
3	社会保障の歴史、理念、制度の骨格	日本と諸外国における発展の経緯、理由、基本となる考え方や制度の骨格	森山幹夫
4	看護と社会保障	社会保障では看護及び看護師が大きな役割を果たすこと及び保健師助産師看護師法の理解	森山幹夫
5	医療及び医療保障制度	患者を中心として、看護師や医師、病院などのシステムとそれを運営する保険制度の基本	森山幹夫
6	所得保障と雇用の安定	所得を安定的に確保するための年金などの制度と安心して働く各種保障	森山幹夫
7	社会保障が抱える問題と対応	少子高齢化、医療の高度化、低経済成長等に社会保障はいかなる対応をするか考察	森山幹夫
8	社会保障の将来	人類が産んだ叡智であり将来にわたって維持するための議論及び看護の役割	森山幹夫
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護倫理Ⅰ（基礎）	専門科目	1単位	必修	1年後期	演習
	看護の基礎	(15時間)			
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 鈴木祐子		講義日の授業終了後から放課後 鈴木祐子(第一看護学科棟 404 研究室) Syuko410@tokyo-med.ac.jp			
授業のねらい	<p>本科目では、患者の権利とその擁護、人間の尊厳、看護職の責務と倫理原則など看護を実践する上で必要な倫理に関する基本的な知識を習得することを目指す。また、看護実践現場で看護職が直面する倫理的問題がどのようなものかを事例を通して理解し、それらの倫理的問題に対処するための倫理的意思決定の考え方および方法を学ぶ。そして、授業を通して看護の価値を追求し、倫理的感受性を高め、倫理的思考を身につけることを目指す。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性 (□にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。</p> <p><input type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における倫理の意義・重要性を述べることができる。 2. 患者の権利、人間の尊厳の尊重について理解できる。 3. 倫理原則および看護者の倫理綱領についてその意味を説明できる。 4. 看護における倫理的問題や倫理的ジレンマの意味を理解できる。 5. 倫理的意思決定の方法を理解できる。 				
教科書	<p>特になし</p> <p>随時、資料を提示します</p>				
参考図書	<p>サラ T. フライ著、片田範子訳；看護実践の倫理（第3版）、日本看護協会出版会、2010年</p> <p>隈本邦彦著；ナースが学ぶ「患者の権利」講座、日本看護協会出版会、2006年</p> <p>小西恵美子編集；看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ、改訂第2版、南江堂、2014年</p> <p>橋本和子；これからの看護倫理学、ふくろう出版、2014年</p>				

評価方法	筆記試験 70%、授業への取り組み・課題レポート 30%
課題に対するフィードバック	課題に対して、授業中に随時フィードバックする。
事前・事後学習	<p>事前学習：「倫理学」「生命倫理」「道徳」といった言葉についてその意味を調べてみる。自分が生きていく上で、あるいは人と関わる中で大事にしていること（価値観）について考えてみる。この科目は、看護専門職として身につけるべき重要な倫理的感受性や倫理的思考を身につけることをねらいとしているので、人間の尊厳や権利に関する著書を1冊選んで読んでおくこと。</p> <p>事後学習：授業で学習した用語や概念について、わからないものは必ず復習して理解するように努めること。</p>

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	倫理とは何か 規範倫理学とは	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理とは何かを考えてみる。 ・価値とは何か 日常生活の中にある倫理や道徳、それらに 関係する価値 ・徳の倫理、義務論、功利主義倫理学 	鈴木祐子
2	「看護倫理」とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・看護倫理とは何か ・看護倫理の必要性と意義 ・看護実践にとって重要な倫理原則 ・専門職と倫理 	鈴木祐子
3	人間の権利、尊厳と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の権利とは何か ・人間の尊厳の尊重や患者の権利に関する宣言 ・看護倫理の歴史的推移 ・法と倫理の関係 	鈴木祐子
4	専門職における職業倫理 「看護者の倫理綱領」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会によって規定されている「看護者の倫理綱領」の各項目を熟読し、その意味を理解する。 	鈴木祐子
5	看護倫理に関する重要な用語	<p>看護倫理に関する重要な用語の意味を学ぶ。</p> <p>「ケアリング」「インフォームド・コンセント」「アドボカシー」「責務・責任」「協力」「パートナーリズム」「意思決定」などの用語について学ぶ。</p>	鈴木祐子
6	インフォームド・コンセント	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの定義 	鈴木祐子

科目コード【3102】

		<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントが生まれた経緯 ・日本の医療におけるインフォームド・コンセントの導入経緯 ・インフォームド・コンセントと看護師の責任と役割 	
7	看護におけるジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的ジレンマとは何か ・ジレンマの状況で最善の方法を選択するにはどうすればいいかを事例を通して考えてみる。 	鈴木祐子
8	倫理的意思決定の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的意思決定のアプローチ方法 ・1つの倫理的問題事例に対して、倫理的意思決定の方法を用いてその対処を考えてみる。 	鈴木祐子
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護リテラシーⅡ (看護基礎ゼミ)	専門科目	1単位 (30時間)	必修	1年後期	演習
	看護の基礎				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]小林信 [担当教員]天野雅美 伊藤綾子 上野里絵 小野田舞 春日広美 河田照絵 黒田真理子 小林信 小室佳文 鈴木祐子 瀬戸山陽子 竹内千恵子 田所良之 田中 瞳 田村知子 永島美香 成田みゆき 成瀬和子 西 村礼子 平井和恵 藤本薫 森山幹夫 吉岡京子 小 檜山敦子 小林万里子 藤沼小智子		各グループ担当教員から提示する。			
授業のねらい	この科目は基本的に小人数グループによるゼミ形式の学習である。各グループで、医療・看護に関する専門領域から関心のある学習テーマを一つ選択し、そのテーマについて深く探求する。事実の把握、問題の抽出、解決策の考察という問題解決のための思考過程をたどりながら、読む、書く、調べる、意見を述べるといった基本的学習能力を経験的に習得する。リフレクティブ・シンキング、アサーティブな自己表現を学び、グループ討議やカンファレンスで自分の考えを適切に表現することや他者の意見を聴く技術等を高める。また、グループメンバー同士が相互に理解し、協力し合うことを学ぶ。 授業計画は標準的なものであり、実際には各グループに担当教員が配置され、グループ活動の進行状況に応じて適宜調整しながら進める。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1) 関心のあるテーマから自己の学習課題を設定し探求できる。 2) 情報を収集・整理し、得た知識をまとめることができる。 3) 得た知識に基づいて課題に対する自分の考えをまとめ、発表することができる。 4) グループ討議に積極的に参加し、人との建設的な議論の仕方を学ぶことができる。				

科目コード【3106】

	<p>きる。(自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見を聴くことや論点をはっきりさせる上手な質問ができる)</p> <p>5) 同じグループのメンバーと協力すること、協働すること、支援し合うことを学ぶことができる。</p>
教科書	なし
参考図書	グループごとにテーマに関連した図書・資料を紹介する。
評価方法	レポート 50%、学習態度 40%、成果発表（教員・学生評価） 10%
課題に対するフィードバック	オフィスアワーに同じ
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの意義や意味を理解して、積極的・主体的に取り組んでください。 ・グループ活動について、毎回「活動記録」を記載し、次回の活動に活かしてください。 ・「看護リテラシー I」での学習を復習して、学習活動に活用してください。 ・別途、「看護基礎ゼミについて」資料を配付しますので、事前に学習内容、進め方を理解しておいてください。 ・夏季休暇前に事前学習課題を提示します。しておいてください。 ・夏季休暇前に事前学習課題を提示します。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目の概要・目的、進め方について ・グループ分け、担当教員の発表 ・テーマの検討、活動計画立案 	小林信
2	eポートフォリオ	eポートフォリオ設定、活用方法について	成田みゆき 黒岩美幸
3~15	グループワーク活動	<p>グループに分かれ学習テーマに沿って活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマの決定 ・学習計画の立案 ・グループ討議（ディスカッション、リフレクション） ・情報の収集・整理、分析・判断、統合、記述 ・課題の明確化 ・課題の解決 ・プレゼンテーションの方法の理解と実践 ・グループメンバー間での「ピア評価」 	担当教員
—	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
健康生活支援論演習	専門科目	2単位 (30時間)	必修	1年後期	演習
	生活環境と看護の対象				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]伊藤綾子 [担当教員]阿部幸恵 天野雅美 小野田舞 清水典子 西村礼子		伊藤研究室 410 ayaito@tokyo-med.ac.jp 実習時間終了後・教員研究室および実習場所			
授業のねらい	あらゆる健康レベル、ライフサイクルにある対象者に応じた生活支援の方法について学習する。日常生活援助及び日常生活援助を通じた健康増進・改善に必要な知識と技術を統合し、対象者に必要な日常生活援助の基礎的な知識・技術・態度を習得する。また、検査や与薬など診療や治療に伴う援助技術の必要性と方法について理解し、援助の方法について習得する。前期に学習した、健康生活支援論、健康生活支援論実習、看護初期実習の内容と関連付けて、知識や経験を活用する。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(口にチェックする)	<input checked="" type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. あらゆる健康レベルやライフサイクルに応じた対象者の生活支援の意義とその方法を理解することができる。 2. 対象者に応じた日常生活援助を支援するための基礎的な知識と技術を習得することができる。 3. 診療や治療に伴う援助技術の必要性と方法について知識と技術を習得することができる。				
教科書	「ナーシンググラフィカ 20 基礎看護技術」志自岐康子他編、第3版、2017(メディカ出版)				
参考図書	必要時指示する。				

評価方法	筆記試験 50%、実技評価 20%、課題 15%、確認テスト 15%とし、総合的に評価する。
課題に対する フィードバック	演習中・後に集団及び個人へフィードバックする。
事前・事後学習	<p>【事前学習】</p> <p>授業前に提示するテキストや配布資料を読んで準備した上で授業に臨む。 授業ごとの課題は事前に説明するので授業前に取り組み準備をする。</p> <p>【事後学習】</p> <p>授業後はテキスト、配布資料をもとに復習に 30 分以上かける。 学習した技術については実習室を活用し、練習をして習得する。</p>

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	オリエンテーション 安全を守る①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習での学習方法と実習室の使い方を学ぶ ・ 対象者に応じた看護技術と看護技術を行う際に配慮すべきこととは何かを学ぶ ・ 看護における安全と安全を守る意義や仕組みについて学ぶ ・ 安全を阻害する因子と医療事故への取り組みについて学ぶ ・ 療養のための病床（実習室）の環境の実際を知る 	伊藤綾子 阿部幸恵、天野雅美、 小野田舞、清水典子、 西村礼子
2 3	環境を整える 活動と休息を支える①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適で安全・安楽な生活環境とは何かを考える ・ リネン交換の意義と方法について学ぶ ・ ボディーメカニクスについて学ぶ ・ 活動における安全・安楽とは何か考える ・ 体位変換・安楽な体位の保持の必要性と方法について学ぶ 	西村礼子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 清水典子
4 5	活動と休息を支える②	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボディーメカニクスを考えた体位変換と安楽な体位の保持の援助を学ぶ ・ 車椅子への移乗と移送の方法を学ぶ ・ ストレッチャーへの移乗と移送方法を学ぶ 	西村礼子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 清水典子
6	安全を守る②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滅菌手袋装着・無菌操作の必要性と方法 	清水典子

科目コード【3202】

		<p>について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染防護用具の脱着の方法について学ぶ 	<p>阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子</p>
7	生命を維持することを支える①	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサインズ（生命徴候）とは何か・測定する意義を学ぶ ・ 体温・呼吸・循環を整えるための援助とは何かを学ぶ ・ 吸入・吸引・酸素療法・電法の方法を学ぶ 	<p>阿部幸恵 伊藤綾子、天野雅美、 小野田舞、清水典子、 西村礼子</p>
8 9	生命を維持することを支える②	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサインの測定方法について学ぶ 	<p>阿部幸恵 伊藤綾子、天野雅美、 小野田舞、清水典子、 西村礼子</p>
10 11	食生活を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養状態のアセスメント方法を学ぶ ・ 対象者に応じた食事摂取方法について学ぶ：食事環境・体位の調整 ・ 経口摂取の援助方法について学ぶ ・ 口腔ケアとその方法について学ぶ ・ 経管栄養の援助方法について学ぶ 	<p>西村礼子 阿部幸恵、伊藤綾子天 野雅美、小野田舞、清 水典子</p>
12	清潔を保持する①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体を清潔にする行為とは何かを学ぶ ・ 皮膚の構造と機能、感覚受容について学ぶ ・ 清潔行動に影響を与える因子とアセスメントに必要な項目について学ぶ ・ 足浴の方法について学ぶ 	<p>清水典子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子</p>
13 14	清潔を保持する②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仰臥位または座位での洗髪の方法について学ぶ 	<p>清水典子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子</p>
15 16	清潔を保持する③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の清潔を保持するための援助について学ぶ：清拭・入浴・部分浴 ・ 寝衣交換の意義と目的、衣類による環境調整について学ぶ 	<p>清水典子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子</p>
17	看護技術の統合学習①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活援助の技術評価① 	<p>天野雅美 阿部幸恵、伊藤綾子、 小野田舞、清水典子、 西村礼子</p>

科目コード【3202】

18	排泄を支える①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄のアセスメントについて学ぶ ・ 自然排泄～床上排泄の援助方法を学ぶ ・ 導尿・浣腸の援助方法を学ぶ ・ 摘便・ストマ交換の援助方法を知る 	小野田舞 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、清水典子、 西村礼子
19 20	排泄を支える②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便器介助・おむつ交換の方法について学ぶ ・ 陰部洗浄の方法について学ぶ ・ 浣腸の方法について学ぶ 	小野田舞 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、清水典子、 西村礼子
21 22	排泄を支える③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尿器介助の方法について学ぶ ・ 導尿の方法について学ぶ 	小野田舞 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、清水典子、 西村礼子
23 24	体温・呼吸・循環を整える技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吸入・吸引・酸素療法の方法について学ぶ ・ 罨法作成と貼用の方法について学ぶ 	清水典子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子
25	検査・治療の援助①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検査や治療を支援する方法を学ぶ ・ 検査の目的・意義と必要性、検査の種類と検査介助の役割・援助方法について学ぶ ・ 検体の適切な採取方法を理解する ・ 採血の方法を知る 	伊藤綾子 阿部幸恵、天野雅美、 小野田舞、清水典子、 西村礼子
26 27	検査・治療の援助②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血の方法について学ぶ 	清水典子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 西村礼子
28 29	検査・治療の援助③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射法（皮下・筋肉内）について学ぶ ・ 輸液法について学ぶ 	西村礼子 阿部幸恵、伊藤綾子、 天野雅美、小野田舞、 清水典子
30	看護技術の統合学習②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活援助の技術評価② 	天野雅美 阿部幸恵、伊藤綾子、 小野田舞、清水典子、 西村礼子
—	定期試験		

科目コード【3301】

科 目	科目区分	単位数 (1 単位当たり の時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
看護援助論 I (コミュニケーション 論)	専門科目	1 単位 (15 時間)	必修	1 年後期	講義
	看護援助の方法				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 小林 信 [担当教員] 小林 信、上野 里絵		<p>オフィスアワーは開講時に提示します。 場所は、講義担当者の研究室となります。事前にアポイントをとってください。 小林 (506 研究室) : nkoba027@tokyo-med. ac. jp 上野 (504 研究室) : r-ueno@tokyo-med. ac. jp</p>			
授業のねらい	<p>看護における対人関係の意味や対人関係理論について学ぶとともに、援助関係とは何か、援助関係の構成要素としての重要概念などについて学習し、看護における関係性構築の重要性について理解する。 また、関係性の構築に必要な看護援助技術としてのコミュニケーションの理論と技法を学ぶ。</p>				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連 (□にチェックする)	<p><input checked="" type="checkbox"/>①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/>②看護の対象者を全人的に理解し、ケアとケアを融合した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/>③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/>④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input checked="" type="checkbox"/>⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input checked="" type="checkbox"/>⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。</p>				
到達目標	<p>1. 看護実践の基盤としての対人関係の意味と主要な対人関係理論について理解する。 2. 援助関係の特徴と関係性構築における看護者の役割について理解する。 3. コミュニケーションの理論と技法を理解し、技法のいくつかを使えるようになる。 4. 「信頼」、「共感的理解」、「傾聴」の概念を学び、看護者-患者関係におけるそれらの意味を理解する。 5. 看護場面での患者と看護者のコミュニケーションの例を通して、患者のニーズや感情に気づき、共感することができる。</p>				
教科書	特になし。随時資料を配布する。				
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> • H. E. ペプロウ著、稲田八重子他訳; 人間関係の看護論、医学書院、1973 年 • A. W. オトゥール他著、池田明子他訳; ペプロウ看護論、医学書院、1996 年 • E. ウィーデンバック他著、池田明子訳; コミュニケーション、日本看護協会出版、1979 年 • 平澤久一監; 精神科看護のコミュニケーション技術、日総研、2005 年 				
評価方法	定期試験(70%)、提出物(10%)、授業への参加度(20%)から総合的に評価する。				

科目コード【3301】

課題に対する フィードバック	定期試験後の一定期間、問題と解答の閲覧および問題の解説を行う。
事前・事後学習	特定の教科書は使わないので、講義中に理解できなかった用語等については、必ず講義の後で調べて理解するように努めること。また、講義中に疑問に感じたことなどは積極的に質問すること。分からないことことをそのままにしておかないように復習に力を入れること。自分の日頃の対人関係を振り返り、どんなコミュニケーションを取っているか考えてみる。

授業 回数	項目	講義内容	担当者
1	授業概要の説明 看護実践における対人関係	授業内容、授業の進め方、目標についての簡単なオリエンテーション。 看護実践の基盤としての対人関係の意味について学ぶ。	小林
2	対人関係論	看護実践における患者-看護者関係の意味および、患者-看護師関係に焦点を当てた看護理論の概要を学ぶ。	小林
3	自分のコミュニケーションの 傾向を知る	東大式エゴグラム（TEG）を活用した自己（学生）のコミュニケーションの傾向を自己洞察する。	小林
4	基本的なコミュニケーションの 理論	コミュニケーションの成立過程、構成要素、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて学ぶ。	上野
5	コミュニケーション技術に関 係する主要な概念	「信頼」「共感」「傾聴」の概念について学ぶ。	上野
6	特徴的なコミュニケーション ① 防衛機制の基礎知識	コミュニケーションに潜む防衛機制とは何か、防衛機制の種類と特徴を学ぶ。	小林
7	特徴的なコミュニケーション ② 自己表現とアサーション	アサーションの発展、自己実現のアサーション、看護師の特徴、基本的なアサーション権について学ぶ。	小林
8	特徴的なコミュニケーション ③ 組織・職場における人間関係	職場集団・組織、組織の目標、組織内のコミュニケーション、組織の機能、日本人・看護師の集団の特徴について学ぶ。	小林
-	定期試験		

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
病理病態学	専門基礎科目	2単位 (30時間)	必修	1年通年	演習
	病気と治療				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者]黒田 雅彦 [担当教員] 長尾俊孝、松本哲哉、山本謙吾、井上理恵、河合隆、倉田厚、松林純、金蔵孝介、祖父尼淳、高橋礼典、高梨正勝、山科光正、山田侑子、後藤明彦		分子病理学講座 主任教授室 平日9:00~17:00			
授業のねらい	疾病の原因、種類や成り立ちについて、生体の反応を機能的な側面から理解できるようにする。人体を構成している、細胞・組織について理解し、生体に起こる現象や障害、再生・修復過程について学ぶ。そのうえで代表的疾患の原因、特徴、病理的变化や反応について学習し、疾病の原理を理解する。病理学では、疾病の発生機序および疾病時に起きる生体反応に関する知識を習得できるようにする。病態学では、健康から疾病に至る変化のプロセスについて、代表的疾患を通じて習得する。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(□にチェックする)	<input type="checkbox"/> ①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 疾病を分類することができる。 2. 疾病の発生機序と症状をのべることができる。 3. 病態生理と看護実践を結びつけることができる。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学				
参考図書	Kumar V, Abbas AK, Aster JC: Robbins&Cotran Pathologic Basic of Disease. 9th Edition, Saunders, 2009.				

評価方法	<p>1. <u>合格点：60点を合格点とする。</u></p> <p>2. 最終評価点：<u>最終評価点＝（授業評価の平均点）</u></p>
課題に対する フィードバック	
事前・事後学習	<p>講義はあくまでも自己学習を手助けするものである。常に自ら学習する姿勢が重要である。講義前の予習を行い、疑問点は積極的に質問し、問題解決を図る。</p>

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	<p>序論 1.看護と病態学 2.病気の原因 先天異常と遺伝子異常</p>	<p>○看護にとって重要な病態学を講義する。</p> <p>○多因子遺伝が原因となる疾患を列挙しその特徴を講義する。</p>	黒田 雅彦
2	<p>序論 1.看護と病態学 2.病気の原因 先天異常と遺伝子異常</p>	<p>○染色体異常による疾患の中で主なものを解説する。</p> <p>○ゲノム解析に基づく DNA レベルの個人差や病気の原因となる遺伝子異常を講義する。</p>	黒田 雅彦
3	<p>代謝障害 1.細胞の損傷と適応物 2.物質沈着 3.脂質代謝障害 4.タンパク質代謝障害 5.糖質代謝障害 6.その他の代謝障害</p>	<p>○脂質代謝 ○細胞死 ○糖代謝</p>	高梨 正勝
4	<p>代謝障害 1.細胞の損傷と適応物 2.物質沈着 3.脂質代謝障害 4.タンパク質代謝障害 5.糖質代謝障害 6.その他の代謝障害</p>	<p>○個体の老化と諸臓器の変化 ○高齢者に特有な病態 ○物質代謝異常 ○小胞体ストレス</p>	高梨 正勝

授業回数	項目	講義内容	担当者
5	循環障害 1.局所性の循環障害 2.全身性の循環障害 3.リンパの循環障害	○虚血、充血、うっ血と血行静止の違いとそれぞれの原因と病体を講義する。 ○出血の原因と止血の機構を講義する。	金蔵 孝介
6	循環障害 1.局所性の循環障害 2.全身性の循環障害 3.リンパの循環障害	○ショックの定義、原因と病体を講義する	金蔵 孝介
7	炎症と免疫、膠原病 1.炎症 2.免疫 3.アレルギーと自己免疫疾患 4.膠原病 5.移植と免疫	○炎症の定義・分類， 継時的変化 ○アレルギーの分類， 原因， 反応過程 ○膠原病と自己免疫疾患， 血管炎症候群 ○臓器移植にかかわる免疫機構	高梨 正勝
8	感染症 1.病原体と感染症 2.宿主の防御機構 3.おもな病原体と感染症 4.感染症の治療 5.感染症の予防	○感染症の特徴 ○微生物に対する宿主側の反応 ○感染症の治療 ○感染症の予防	松本 哲哉
9	老化と死 1.細胞の老化と個体の老化 2.加齢に伴う諸臓器の変化 3.個体の死	○ストレスに対する適応反応 ○細胞死 ○細胞内沈着物	井上 理恵
10	老化と死 1.細胞の老化と個体の老化 2.加齢に伴う諸臓器の変化 3.個体の死	○個体の老化と諸臓器の変化 ○高齢者に特有な病態 ○個体の死 ○死の判定基準と社会道徳的諸問題	井上 理恵
11	腫瘍 1.腫瘍の定義と分類 2.腫瘍の発生病理 3.悪性腫瘍の転移と進行度 4.腫瘍の診断と治療	○腫瘍とは何か（定義、用語など） ○腫瘍の種類と分類（良性・悪性、組織学的分類）について	長尾 俊孝
12	腫瘍 1.腫瘍の定義と分類 2.腫瘍の発生病理	○癌の広がりや進行度について ○癌の発生（遺伝子異常）、病因、および多段階発癌について	長尾 俊孝

授業回数	項目	講義内容	担当者
	3.悪性腫瘍の転移と進行度 4.腫瘍の診断と治療	○腫瘍の病理診断について	
13	循環器系の疾患の発生機序および生体反応 1.心臓の疾患 2.血管の疾患	○心筋梗塞の病態生理、症候、診断と合併症を説明し、治療を講義する ○心筋症と特定心筋疾患の定義・概念と病態生理を講義する ○動脈硬化症の危険因子、病態生理と合併症を講義する	金蔵 孝介
14	循環器系の疾患の発生機序および生体反応 1.心臓の疾患 2.血管の疾患	○動脈硬化症の危険因子、病態生理と合併症を講義する ○心筋症と特定心筋疾患の定義・概念と病態生理を講義する ○心弁膜症の病態生理、症候、診断と合併症を説明し、治療を講義する	金蔵 孝介
15	血液・造血器系の疾患の発生機序および生体反応 骨髄および血液の疾患	○骨髄および血液の疾患 1 貧血 ①鉄欠乏性貧血 ②巨赤芽球性貧血 ③再生不良性貧血 ④溶血性貧血 2 白血病 ①急性白血病 ②慢性白血病 ③骨髄異形性症候群 3 出血性疾患 ①血友病 ②特発性血小板減少性紫斑病	後藤 明彦
16	血液・造血器系の疾患の発生機序および生体反応 リンパ系および脾臓の疾患	○リンパ系および脾臓の疾患 悪性リンパ腫 ①ホジキンリンパ腫 ②非ホジキンリンパ腫（慢性リンパ性白血病、成人T細胞性白血病を含む） ○多発性骨髄腫	後藤 明彦
17	頭頸部疾患 1.鼻腔・咽頭・喉頭・唾液腺の疾患	○上気道（鼻腔・咽頭・喉頭）に発生する病変についての病理学的解説 ○唾液腺に発生する病変についての病理学的解説	山科 光正
18	呼吸器系の疾患の発生機序および生体反応 1.気管・気管支・肺の疾患	○肺炎（結核症を含む）・肺癌（原発性、転移性）・胸膜悪性中皮腫の病理	松林 純

授業回数	項目	講義内容	担当者
	2.胸膜の疾患		
19	消化器系の疾患の発生機序および生体反応 1.口腔・食道の疾患 2.胃の疾患 3.腸・腹膜の疾患	○消化・吸収のしくみ： ①咀嚼と嚥下機能②胃・十二指腸の消化機能③消化、吸収、排泄機能 ○消化管疾患：①口腔・咽頭。食道疾患：口腔・咽喉頭がん、逆流性食道炎、食道癌 ○胃・十二指腸の疾患：胃炎（急性・慢性）、胃潰瘍、胃癌、十二指腸潰瘍 ○腸の疾患：クローン病、潰瘍性大腸炎、大腸ポリープ、大腸癌、腸閉塞 IIIその他：Helicobacter pylori 感染症、腹膜炎	河合 隆
20	消化器系の疾患の発生機序および生体反応 4.肝臓・胆管・胆嚢の疾患 5.膵臓の疾患	○肝胆膵疾患の病態・症候学・治療法について概説する。 ○膵疾患の病態・症候学・治療法について概説する。	祖父尼 淳
21	腎・泌尿器・生殖器系および乳腺の疾患の発生機序および生体反応 1.腎・泌尿器系の疾患 2.生殖器系の疾患 3.乳腺の疾患	○急性腎不全の原因、症候、診断と治療を講義する ○慢性腎不全の原因、症候、診断と治療を講義する ○急性糸球体腎炎症候群の原因、症候、診断と治療を講義する	倉田 厚
22	脳・神経・筋肉系の疾患の発生機序および生体反応 2.筋肉系の疾患	○脳血管障害の病態、症候と診断を講義する ○脳腫瘍とその分類を講義する ○認知症をきたす主な病態、症候と診断を講義する ○神経原性および筋原性筋萎縮の成り立ちと鑑別を講義する	倉田 厚
23	耳・眼・皮膚の疾患の発生機序および生体反応 1.耳・眼の疾患	○副鼻腔炎の病態と治療を説講義する ○鼻腔、副鼻腔、口腔、咽頭の悪性腫瘍を講義する ○喉頭癌の症候、診断と治療を講義する	倉田 厚

授業回数	項目	講義内容	担当者
24	耳・眼・皮膚の疾患の発生機序および生体反応 2.皮膚の疾患	○湿疹・皮膚炎群の疾患を列举し、講義する ○母斑・母斑症の種類を講義する ○代表的な皮膚腫瘍を列举し、それらの病理を講義する	倉田 厚
25	腎・泌尿器・生殖器系および乳腺の疾患の発生機序および生体反応 1.腎・泌尿器系の疾患 2.生殖器系の疾患 3.乳腺の疾患	○ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を講義する ○ 泌尿器や生殖器の疾患を講義する ○ 乳房腫瘍や病理組織像を講義する	倉田 厚
26	脳・神経・筋肉系の疾患の発生機序および生体反応 1.脳・神経系の疾患	○脳血管障害（脳出血・梗塞など）の病理・病態 ○脳神経変性疾患（アルツハイマー病など）の病理・病態 ○脳腫瘍の病理 ○筋疾患（炎症・変性）の病理・病態	高橋 礼典
27	骨・関節系の疾患の発生機序	○骨折の原因、分類、症状、治療 ○骨髄炎の発生秩序と症状 ○骨粗鬆症の病態と予防 ○椎間板ヘルニアの病態、症状、治療 ○関節リウマチの病態、症状、治療	未定
28	骨・関節系の疾患の発生形態異常	○骨腫瘍の診断と治療を説明できる ○軟部肉腫の診断と治療を説明できる	黒田 雅彦
29	内分泌系の疾患の発生機序および生体反応 1.下垂体の疾患 2.甲状腺の疾患 3.副甲状腺の疾患 4.副腎の疾患 5.膵島の疾患	○ホルモンの作用とその異常. ○代表的な下垂体疾患の病態生理. ○代表的な副腎疾患の病態生理.	山田 侑子
30	内分泌系の疾患の発生機序および生体反応 1.下垂体の疾患 2.甲状腺の疾患 3.副甲状腺の疾患 4.副腎の疾患	○代表的な甲状腺疾患の病態生理. ○代表的な副甲状腺疾患の病態生理. ○代表的な膵神経内分泌腫瘍の病態生理.	山田 侑子

科目コード【2102】

授業回数	項目	講義内容	担当者
	5 睥島の疾患		
—	定期試験		

科目コード【2101】

科目	科目区分	単位数 (1単位当たりの時間)	必修・選択 区分	開講時期	授業形態
人体の構造と機能	専門基礎科目	4単位 (15コマ)	必修	1年通年	講義
	病気と治療				
科目担当者		オフィスアワー・場所			
[科目責任者] 石龍徳 [科目担当者] 伊藤正裕、李忠連、宮宗秀伸、河田晋一、永堀健太、表原拓也、石龍徳、柏木太一、篠原広志、小西真人、谷藤章太、林由起子、佐々木光美、川原玄理		毎週水曜日 12～13時 人体構造学集会室 毎週水曜日 12～13時 組織神経解剖学第7研究室 毎週水曜日 17～18時 細胞生理学セミナー室 毎週木曜日 12～13時 病態生理学集会室			
授業のねらい	本科目では、医療に携わる者すべてにとって必要不可欠な身体の構造と機能の講義を行います。また、人体解剖実習を見学する貴重な機会もあります。身体の構造と機能に対する知識がなければ、病気を理解することはできません。検査の意味も、薬の作用も、治療法も、看護法も理解できません。				
学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連(□にチェックする)	■①看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ②看護の対象者を全人的に理解し、キュアとケアを融合した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> ③地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> ④豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> ⑤看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。 <input type="checkbox"/> ⑥グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学を身につける。				
到達目標	1. 看護学で使われる解剖学・生理学用語を理解し覚える。 2. 病態、検査法、薬理作用、看護法を理解するために必要な臓器の構造と機能を理解する。				
教科書	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体構造と機能 1 「解剖生理学」(医学書院) 坂井建雄、岡田隆夫著 2) 「カラーアトラス-解剖と機能」(医学書院) 横地千伍ら著 「アトラス解剖学-人体の構造と機能」(西村書店) E. リューティエン-ドレコール、J. W. ローエン著. 井上貴央、海藤俊行、牛木辰男訳				
参考図書	「トートラ人体解剖生理学」丸善出版				

科目コード【2101】

評価方法	定期試験及び出席 定期試験 92%、 実習レポート 8% 実習の無断欠席および無断遅刻は、ご献体への感謝の念がないものと判断し、それ以降の解剖実習室への入室を禁ずる。なお、講義・実習に加えて、2017年9月8日(金)に行われる、ご遺骨返還式への参列も上記と同等である。
課題に対するフィードバック	試験に対する質問は、学務課に提出すること。各担当教員が回答します。
事前・事後学習	事前学習では教科書を、事後学習では、ノートと教科書をよく読む。

授業回数	項目	講義内容	担当者
1	1-解剖生理学を学ぶための基礎知識 (1)	人体とはどのようなものか	篠原広志
2	1-解剖生理学を学ぶための基礎知識 (2)	人体の素材としての細胞・組織	篠原広志
3	1-解剖生理学を学ぶための基礎知識 (3)	構造と機能から見た人体 ③体液とホメオスタシス	篠原広志
4	2-栄養の消化と吸収 (1)	口・咽頭・食道の構造と機能	柏木太一
5	2-栄養の消化と吸収 (2)	腹部消化管の構造と機能 (胃・小腸・大腸)	柏木太一
6	2-栄養の消化と吸収 (3)	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	柏木太一
7	2-栄養の消化と吸収 (4)	腹膜	柏木太一
8	人体の形状①-1	肉眼解剖学総論 (第1章) 構造と機能から見た人体 ①、②	伊藤正裕
9	人体の形状①-2	献体 DVD・実習見学説明	河田、李、宮宗、永堀、表原
10	3-呼吸と血液の働き (1)	呼吸器の構造 呼吸運動	谷藤章太
11	3-呼吸と血液の働き (2)	肺胞での換気 ガス交換	谷藤章太

科目コード【2101】

授業回数	項目	講義内容	担当者
12	人体の形状②-1	解剖学実習見学	宮宗、李、河田、永堀、表原
13	人体の形状②-2	解剖学実習見学	宮宗、李、河田、永堀、表原
14	3-呼吸と血液の働き (3)	呼吸調節 病態生理	谷藤章太
15	3-呼吸と血液の働き (4)	赤血球、白血球、血小板の機能	谷藤章太
16	人体の形状③-1	体幹(骨)(第7章)	李忠連
17	人体の形状③-2	上肢(骨)(第7章)	李忠連
18	3-呼吸と血液の働き (5)	血漿、血液凝固、血液型	谷藤章太
19	人体の形状④-1	下肢(骨)(第7章)	李忠連
20	人体の形状④-2	体幹(筋)(第7章)	宮宗秀伸
21	人体の形状⑤-1	上肢(筋)(第7章)	宮宗秀伸
22	人体の形状⑤-2	下肢(筋)(第7章)	宮宗秀伸
23	6-内臓機能の調節 (1)	自律神経系の機能と調節機構	佐々木光美
24	6-内臓機能の調節 (2)	ホルモンの特徴及び生理作用	佐々木光美
25	6-内臓機能の調節 (3)	ホルモンの化学構造と作用機序	佐々木光美
26	6-内臓機能の調節 (4)	視床下部-下垂体系のホルモン	川原玄理
27	6-内臓機能の調節 (5)	甲状腺と副甲状腺のホルモン	川原玄理
28	6-内臓機能の調節 (6)	膵臓のホルモンと血糖調節	川原玄理

科目コード【2101】

授業回数	項目	講義内容	担当者
29	6-内臓機能の調節 (7)	副腎及び性腺のホルモン	川原玄理
30	6-内臓機能の調節 (8)	ホルモン分泌の調節機構	川原玄理
31	人体の形状⑥-1	体表解剖-1 (第 11 章)	河田晋一
32	人体の形状⑥-2	体表解剖-2 (第 11 章)	河田晋一
33	人体の形状⑦-1	骨学実習	宮宗、李、河田、永堀、表原
34	人体の形状⑦-2	骨学実習	宮宗、李、河田、永堀、表原
35	4-血液の循環とその調節 (1)	心臓の構造 血管の構造	小西真人
36	4-血液の循環とその調節 (2)	心臓の電気活動	小西真人
37	4-血液の循環とその調節 (3)	心電図	小西真人
38	4-血液の循環とその調節 (4)	心筋の興奮と収縮	小西真人
39	4-血液の循環とその調節 (5)	ポンプとしての心臓	小西真人
40	4-血液の循環とその調節 (6)	末梢循環	小西真人
41	4-血液の循環とその調節 (7)	循環器系の調節 まとめ	小西真人
42	5-体液の調節と尿の生成 (1)	腎臓及び糸球体の構造と機能 糸球体濾過のしくみ	小西真人
43	5-体液の調節と尿の生成 (2)	尿細管及び傍糸球体装置 クリアランスと糸球体濾過量	小西真人
44	5-体液の調節と尿の生成 (3)	腎臓から分泌される生理活性物質	小西真人
45	5-体液の調節と尿の生成 (4)	排尿路の構造 尿の貯蔵と排尿	小西真人

科目コード【2101】

授業回数	項目	講義内容	担当者
46	5-体液の調節と尿の生成 (5)	体液調節のしくみ	小西真人
47	7-骨と関節	骨・関節の機能	川原玄理
48	7-筋の収縮	筋収縮の特徴	川原玄理
49	8-情報の受理と処理 (1)	神経系の構造と機能 脊髄と脳	篠原広志
50	8-情報の受理と処理 (2)	脊髄神経と脳神経 脳の高次機能	篠原広志
51	8-情報の受理と処理 (3)	運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路	篠原広志
52	8-情報の受理と処理 (4)	眼の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚	篠原広志
53	8-情報の受理と処理 (5)	味覚と嗅覚 疼痛	篠原広志
54	9-外部環境からの防御 (1)	皮膚の構造と機能 生体の防御機構 1	小西真人
55	9-外部環境からの防御 (2)	生体の防御機構 2	小西真人
56	9-外部環境からの防御 (3)	体温とその調節	小西真人
57	10-生殖・発生と老化のしくみ (1)	男性生殖器	柏木太一
58	10-生殖・発生と老化のしくみ (2)	女性生殖器	柏木太一
59	10-生殖・発生と老化のしくみ (3)	受精と胎児の発生	柏木太一
60	10-生殖・発生と老化のしくみ (4)	成長と老化	石 龍徳
—	定期試験		